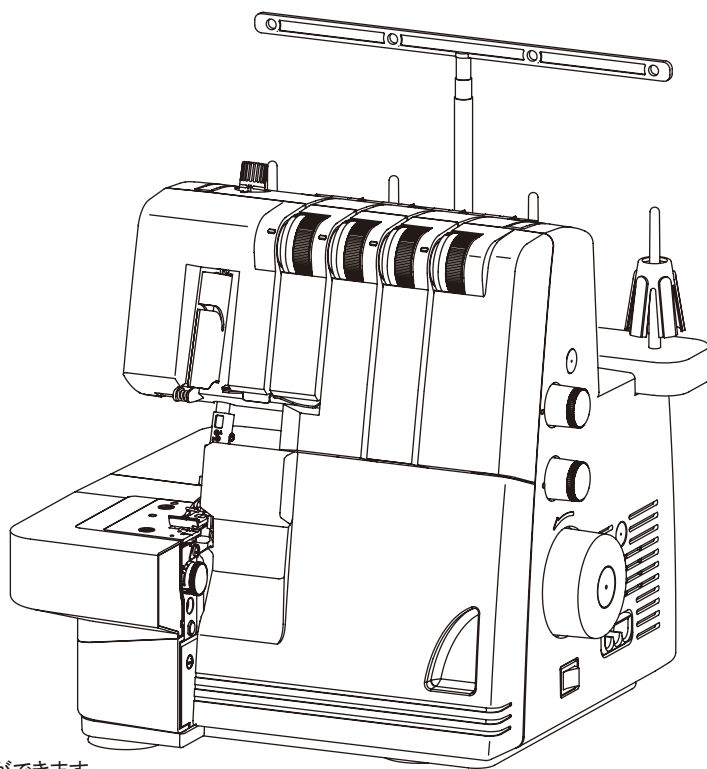


JUKI

2本針・2／3／4本糸（差動調節付き）
オーバーロックミシン

MO-80CB

取扱説明書



QRコードから操作サポートビデオにアクセスすることができます。

https://www.juki.co.jp/household_ja/world/youtube/index.html



注意：

安全にご使用していただくため、ご使用前に必ず
この取扱説明書をお読みください。また、
いつでもご覧になれますように保管してください。

この度は、本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用になる前に「安全にご使用していただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。

お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にご使用していただくために

この取扱説明書および製品に使われている表示や絵文字は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになられる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

警告表示は以下のように使い分けています。

 警告	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵文字の意味は次のとおりです。

 注意すること	 感電の危険があります	 火災の危険があります	 手などへの傷害の危険があります
 してはいけないこと	 分解、改造をしないでください	 針の下に指を入れないでください	 油などを注がないでください
 必ず行うこと	 電源プラグをコンセントから抜いてください		

このミシンを正しく安全にご使用していただくために、下記のことがらを必ずお守りください。

このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。

This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.

 警告	感電、火災、故障の原因となります。	
1. 一般家庭用交流電源100V の電圧以外では、絶対に使用しないでください。 2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。 ● ミシンのそばを離れるとき。 ● ミシンをご使用になったあと。 ● ミシンのご使用中に停電したとき。 ● ミシンをお手入れするとき。 ● ミシンを移動させるとき。 ● 接触不良・断線などで正常に動作しないとき。 ● 雷が鳴りはじめたとき。		
 注意	感電、火災、故障の原因となります。	
1. コントローラーの上に物をのせないでください。		

2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。

3. ミシンを操作するときはルーパー部などカバー類を閉じてください。

4. ミシンの縫製中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車(プーリー)、天びんなど、すべての動いている部分に手を近づけないでください。

5. 針折れの原因になるような曲がった針はご使用にならないでください。

6. けが、針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引張ったり、押ししたりしないでください。

7. けが、メスの破損、針折れの原因になりますので、まち針を布地に刺したまま縫わないでください。その他、布地や糸以外のものをメスで切断しないでください。

8. お子様がミシンをご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全にご使用していただくことをご注意ください。

9. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 針、針板、押え、アタッチメントなどを交換するとき。
- 針糸、ルーパー糸をセットするとき。
- 取扱説明書に記載のあるコントローラーの取り付け、ミシンのお手入れを行うとき。

10. ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。

11. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは、速やかに使用を停止し、販売店にて点検、修理、調整をお受けください。

- 正常に作動しないとき。
- 落下などにより破損したとき。
- 水に濡れたとき。
- 電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
- 異常な臭い、音がするとき。
- 異物が入ったとき。

12. 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

13. 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

14. 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。

15. 電源プラグやコントローラを抜くときは、まず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。コード部分を引張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

16. 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

17. スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけどの原因となります。

18. ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は必ず壁から30 cm 以上離して使用し、換気口やコントローラに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。



19. ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。

20. 針の下に指などを入れないでください。また、作業時メス、ルーパーなど鋭利な部分には触れないでください。



21. ミシン本体には、取扱説明書に記載されている正規部品をご使用ください。他の部品を使用するとけが・故障の原因となります。

22. ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか、破棄してください。

23. ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落したりして、けがの原因になります。

⚠ 警告

特に、布地と糸と針の組み合わせは、「針の交換」の説明表に従って適切な組み合わせでご使用ください。

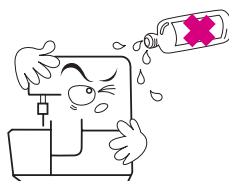
組み合わせが適切でない場合、特に厚い布地（デニムなど）を細い針（＃11 以下）で縫うと針が折れ、思わぬ怪我をする可能性があります。

その他のご注意

● 直射日光が当たる場所、湿気が多い場所には置かないでください。



● シンナーなどの溶剤でふかないでください。



このミシンはマイクロコンピューター、半導体電子部品や精密な電子回路を内蔵していますので、下記の状態がおこる場合があります。ご注意ください。

● 5℃～ 40℃の範囲でお使いください。

温度がいちじるしく低い場合、正常に動かないことがあります。



※ミシンの使用温度は5℃～ 40℃です。直射日光の当たるところや、ストーブ、ろうそくなど火の気のあるもののそばや温度の高いところでは使用しないでください。ミシン内部の温度が上がったり、電源コードの皮膜等が溶けて火災・感電の原因となります。

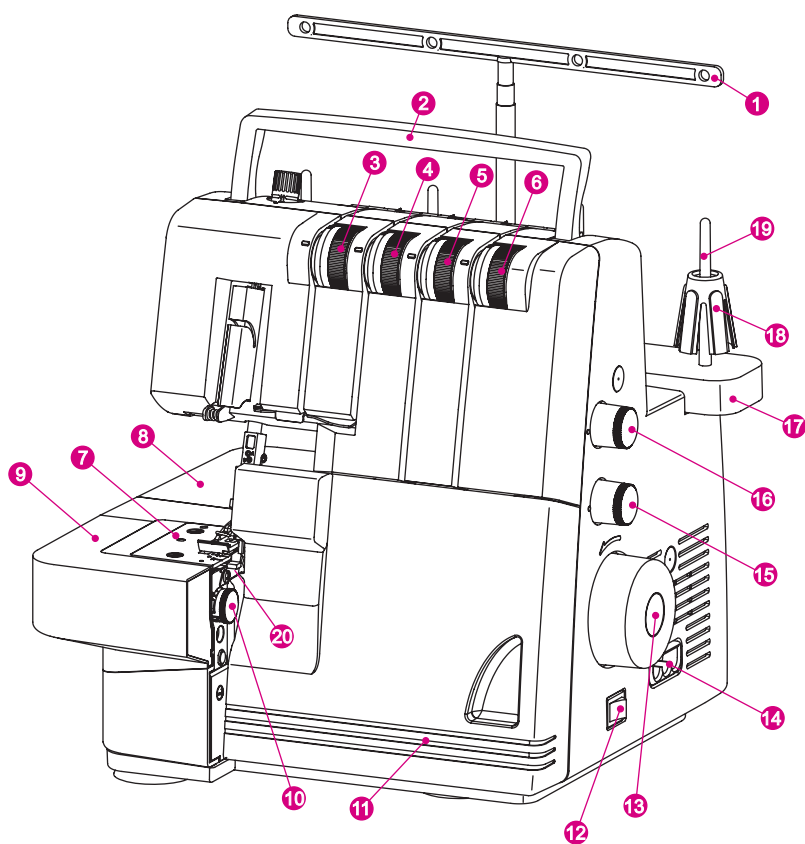
目次

	ページ		ページ
1. 各部のなまえ	5	18.糸を変更する：結び方	22
(1)ミシンの概観	5	19.縫い目の長さ(送り)の調節	23
(2)フリーアーム	6	20.縫製のヒント	23
(3)ルーパーカバーを開けたところ	7	(1)空環の出し方	23
2. 付属品	7	(2)空環ブレード	23
3. 別売品	8	(3)ルーパーに太い装飾糸を使って縫う	24
(1)オーバーロック押え	8	21.かがり幅の調節	24
(2)ワイドテーブル	8	(1)針の位置を変えてかがり幅を調節する	24
4. 針について	9	(2)下メス位置調節つまみでかがり幅を調節する	24
5. 動かす前の準備	9	22.ステッチの種類	25
6. 糸立て台	10	23.ステッチの概要	26
7. 糸かけの準備	10	24.試し縫いと空環の出し方	28
(1)糸かけ棒をセットする	10	(1)試し縫い	28
(2)ネット	10	(2)空環の出し方	28
(3)糸ゴマ押さえ	11	25.巻き縫い	29
8. 布屑受け箱の取り付けと取り外し	11	26.開き縫い	29
(1)取り付け	11	(1)一般開き縫い	29
(2)取り外し	11	(2)装飾開き縫い	30
9. ルーパーカバーの開け方/閉め方	11	(3)ラダーステッチ	30
(1)ルーパーカバーを開ける	11	27.押え圧の調節	30
(2)ルーパーカバーを閉める	11	28.差動送り	31
10. 針の交換	12	(1)ギャザーオーバーロック(伸縮生地、ニット生地)	31
(1)針の位置	12	(2)スーパーストレッチ縫い(薄手布地)	31
(2)針を取りはずす	12	29.糸調子設定の目安	32
(3)針を取り付ける	13	(1)2本糸巻き縫い	32
11. 押え上げレバー	13	(2)2本糸縁かがり	32
12. 押えの交換	13	(3)2本糸開き縫い	32
13. 上メスの解除	14	(4)3本糸縁かがり	33
(1)上メスの解除	14	(5)3本糸開き縫い	33
(2)上メスのセット	14	(6)3本糸スーパーストレッチ縫い	33
14. 2本糸切替アタッチメントの取り付けと取り外し	14	(7)4本糸縫い合わせ縁かがり縫い	34
(1)2本糸切替アタッチメントの取り付け	14	(8)細ロックと巻き縫い	34
(2)2本糸切替アタッチメントの取り外し	14	30.お手入れ	35
15. かがり縫いと巻き縫い	15	(1)掃除	35
(1)かがり縫い	15	(2)注油	35
(2)巻き縫い	15	(3)上メスの交換	35
16. 糸のかけ方	15	(4)保管	36
(1)上ルーパー糸(青色)をかける	16	(5)保守点検	36
(2)下ルーパー糸(赤色)をかける	17	31.布地、糸、針の組み合わせ表	36
(3)右針糸(緑色)をかける	19	32.故障かな・・・というときは	37
(4)左針糸(黄色)をかける	20	33.仕様表	38
17. 針糸通し			

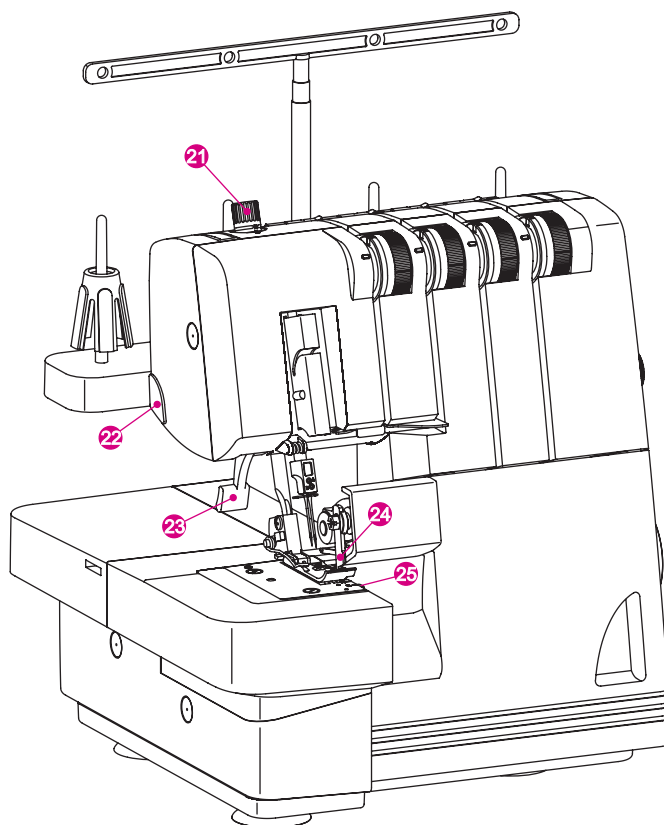
各部のなまえ

(1) ミシンの概観

1. 糸かけ
2. ハンドル
3. 左針糸調子ダイヤル(黄)
4. 右針糸調子ダイヤル(緑)
5. 上ルーパー糸調子ダイヤル(青)
6. 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤)
7. 針板
8. 布台
9. 補助ベッド
10. 下メス位置調節つまみ
11. ルーパーカバー
12. 電源&ライトスイッチ
13. はずみ車
14. ソケット差込口
15. 差動調節つまみ
16. 送り調節つまみ
17. 糸立て台
18. 糸巻き振れ止め
19. 糸立て棒
20. 固定式下メス

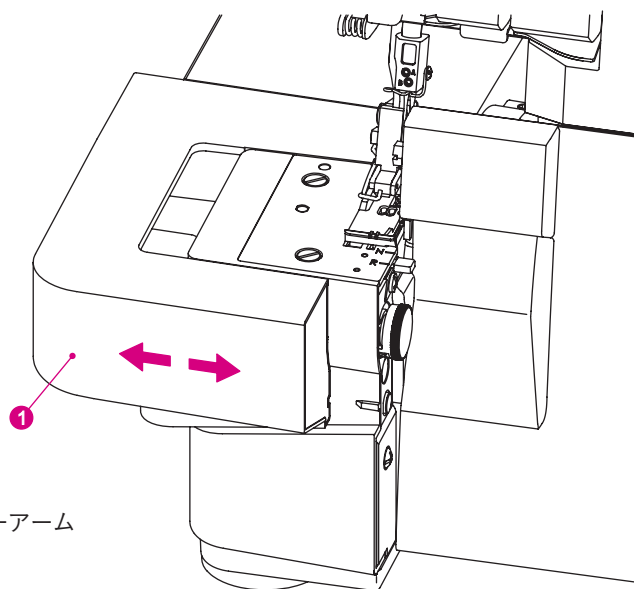


- 21. 押え圧調節つまみ
- 22. 糸切り刃
- 23. 押え上げレバー
- 24. 上メス
- 25. かがり幅切替つまみ



(2) フリーアーム

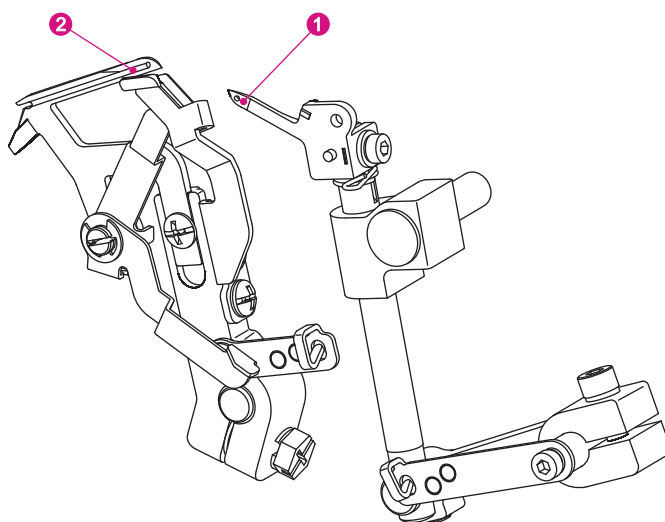
1. 補助ベッド



- * 補助ベッドを取り外すと、フリーアームとなります。
- * 取り外すには、左に引きます。
- * 取り付けるには、右にしっかりと押して取り付けます。
- * フリーアームはズボンや袖口など筒状の縫製に適しています。

(3) ルーパーカバーを開けたところ

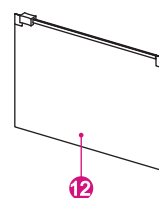
1. 上ルーパー
2. 下ルーパー



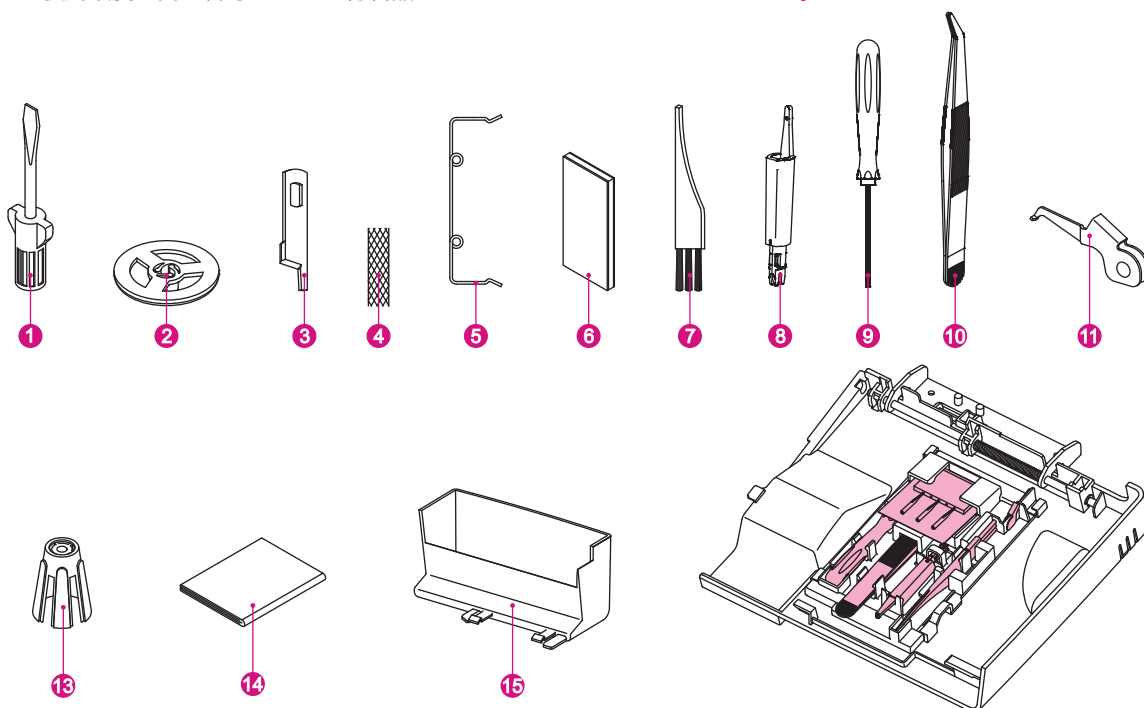
2. 付属品

付属品のうち番号 1 ～ 5 は付属品袋に入っています。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. マイナスドライバー | 9. 六角ドライバー |
| 2. 糸ゴマ押え (X4) | 10. ピンセット |
| 3. 上メス | 11. 2 本糸切替アタッチメント |
| 4. ネット (X4) | 12. 付属品袋 |
| 5. 太糸用糸案内 | 13. 糸巻き振れ止め (X4) |
| 6. 針セット (ELX705) | 14. 頭部カバー |
| 7. ブラシ | 15. 布屑受け箱 |
| 8. 針糸通し | |



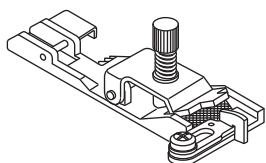
注: 使用頻度の高い番号 6～11 の付属品はルーパーカバーにセットしてあります。



3.別売品

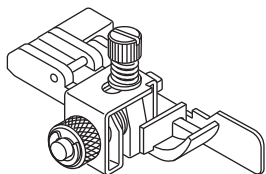
別売品はお買い上げ販売店でお求めください。

(1)オーバーロック押え



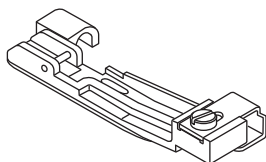
ゴムテープ付け押え

生地端をかがりながら細幅のゴムテープ(6～12mm)を縫い付けることができます。



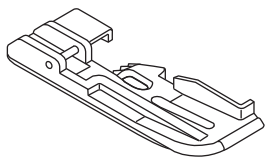
ユニバーサルブラインドステッチ押え

生地端をかがりながらブラインドステッチ(まつり縫い)ができます。



パール付け押え

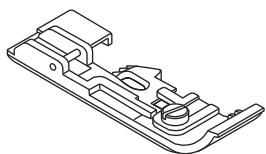
ひも状に繋がったパールやビーズ、スパンコールを縫い付けることができます。



パイピング押え

パイピング付けと生地端かがりが同時にできます。

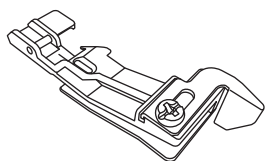
押えの裏側に下溝があり、パイピングテープの凸部を入れ込みながらきわを縫えます。



テープ付け押え

生地端をかがりながらテープを一緒に縫い付けることができます。

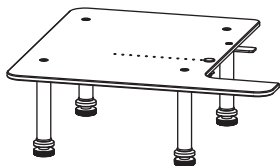
肩線などテープを入れて縫い目を補強したい箇所に使います。



ギャザリング押え

ギャザーを寄せながら2枚の生地を縫い合わせることができます。

(2)ワイドテーブル



ワイドテーブルには4本の脚とプッシュピンを同梱しています。

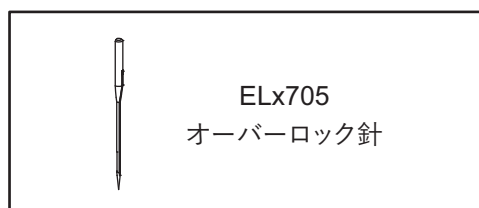
付属の図に従ってワイドテーブルと脚を組み立てます。プッシュピンは台にある小さな穴にセットして円形を縫うときに布地を固定します。

4. 針について

このオーバーロックミシンは、誤って針を逆に挿入しないよう家庭用専用針を使用します。

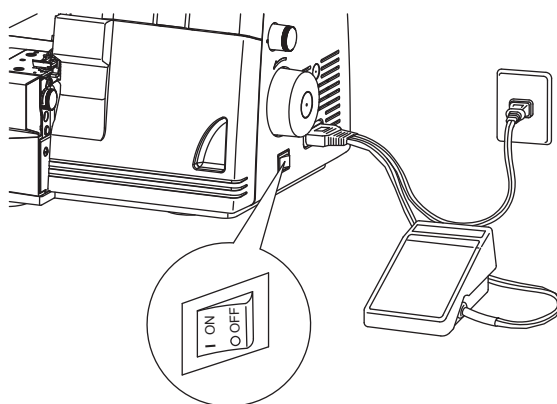
このオーバーロックミシンには、サイズや種類に関わらず、一般の家庭用ミシン針を使用しないでください。

付属品ケースに用意された針 ELx705、サイズ 14/90 と 12/80 以外は使用しないでください。



5. 動かす前の準備

- * コントローラーのプラグをミシンのソケット差し込み口に差し込みます。
- * 電源コードのプラグを室内コンセントに差し込みます。
- * 電源スイッチ：
「I」マーク側を押すと「ON」になり電源が入ります。
「O」マーク側を押すと「OFF」になり電源が切れます。
- * ミシンを動かしたり、速度を調節するにはコントローラーを踏みます。
- * 深く踏むほど、縫いスピードが速くなります。
- * 縫うのをやめてミシンをとめるには、コントローラーから足をはずします。



ミシンに付属のコントローラー以外は使用しないでください。

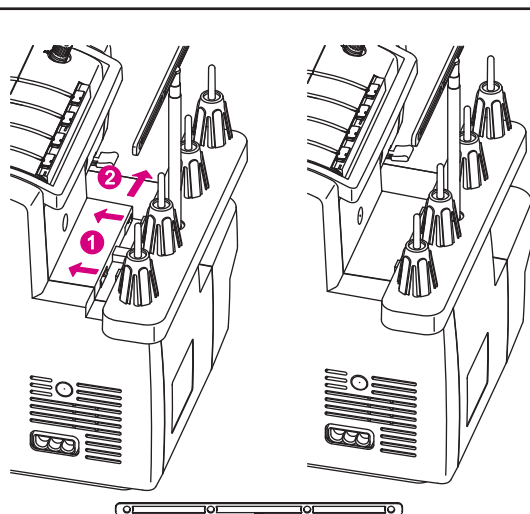


- * 室内コンセントの電圧がモーターの定格電圧と同じであることを確認してください。
- * コントローラーは慎重に取り扱ってください。床に落とさないよう注意してください。使用しないとき、その上に物を置かないでください。
- * 針や押えを交換するときや、ミシンのそばを離れるときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

6. 糸立て台

- (1) 糸立て台をミシンに差し込みます。
- (2) 右にスライドさせると糸立て台が固定されます。

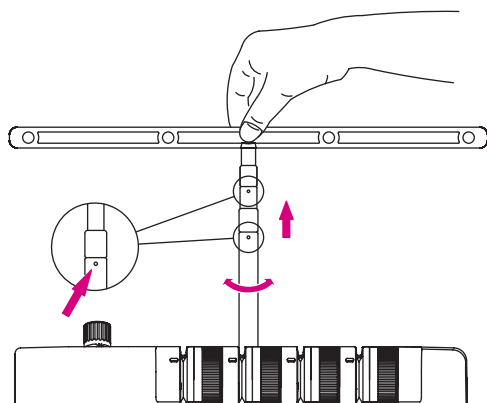
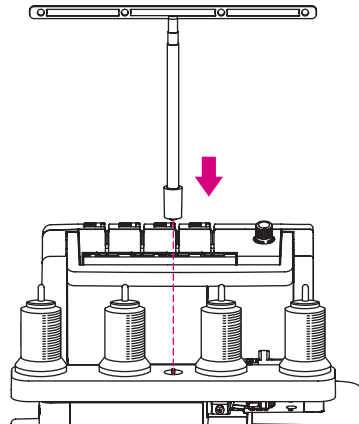
* 糸立て棒に糸巻き振れ止めを差し込み、糸ゴマを置きます。



7. 糸かけの準備

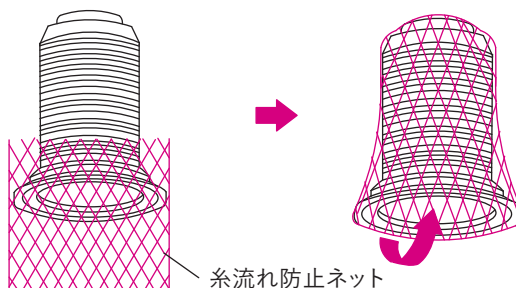
(1) 糸かけ棒をセットする

- * 糸かけ棒を糸立て台にセットして伸ばします。
- * 伸縮部分の 2 つのジョイントかみ合うと、カチッと音がします。
- * 糸かけが糸立て棒の上に来よう合わせます。
- * 糸ゴマを糸巻き振れ止めにかぶせて糸立て棒に置きます。



(2) ネット

- * 化繊糸などは糸巻き振れ止めから滑って離れやすいため、付属のネットを糸巻き振れ止めの下側からかぶせ、糸の端をネットの上側から垂らしておきます(右図参照)。



(3)糸ゴマ押さえ

* 通常の糸ゴマを使用する場合は、付属の糸ゴマ押さえを糸ゴマの上にセットします(右図参照)。

8. 布屑受け箱の取り付けと取り外し

(1) 取り付け

* ミシンの正面が机の端と面一になるよう位置を変えます。

* 布屑受け箱をルーパーカバーの下から挿入します。布屑受け箱の左側が、布屑が落ちるメスの近くに来よう取り付けてください。

(2) 取り外し

* 取り外すには、布屑受け箱を持ち、右側に引き出します(図参照)。

9. ルーパーカバーの開け方 / 閉め方



必ず電源スイッチを切ってください。

(1) ルーパーカバーを開ける

* ルーパーカバーを右にいっぱいまで引きます。

* ルーパーカバーを手前に倒します。

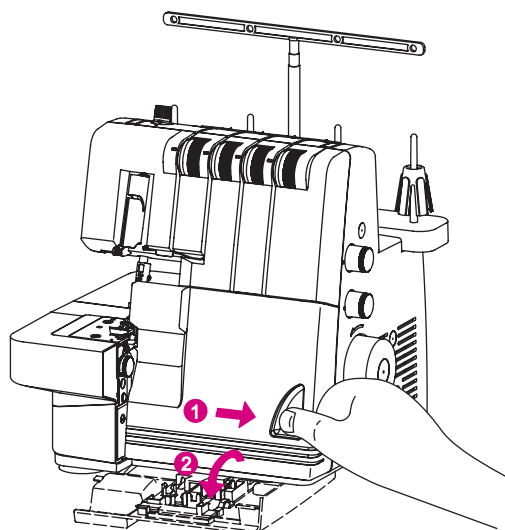
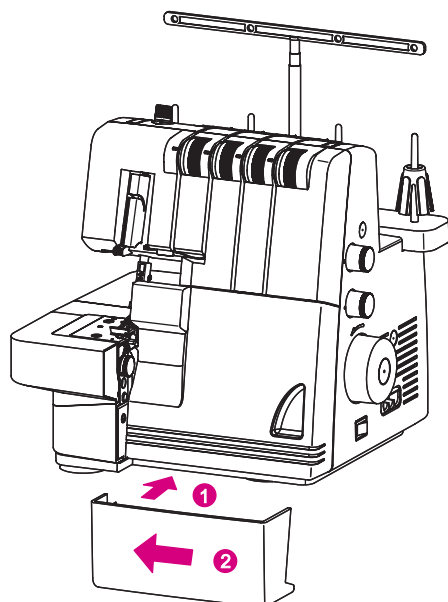
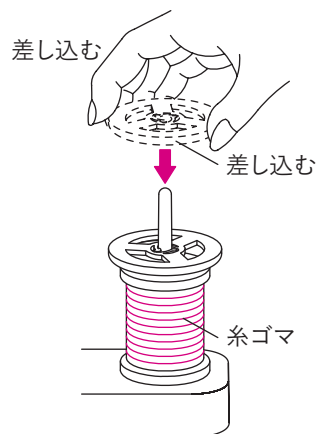
(2) ルーパーカバーを閉める

* ルーパーカバーを持ち上げて軽く左方向へ押すと自動的に閉じます。

注: ルーパーカバーには安全スイッチがあり、ルーパーカバーが開いているとミシンは動きません。



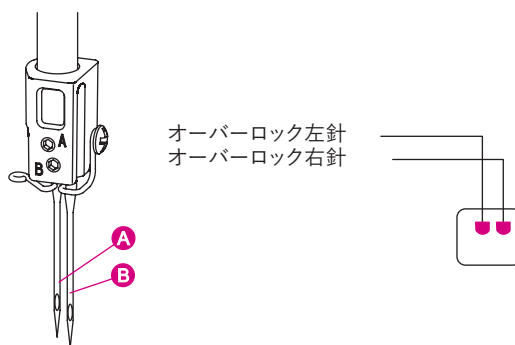
縫製を始める前に、ルーパーカバーが閉じているか確認してください。



10. 針の交換

(1) 針の位置

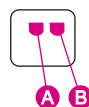
* 左右両方に針をセットした場合、左針 (A) が右針 (B) よりわずかに高くなります。



右オーバーロック
針糸



左右オーバーロック
針糸



(2) 針を取りはずす



針を取りはずす前に、必ずミシンのプラグをコンセントから抜いてください。

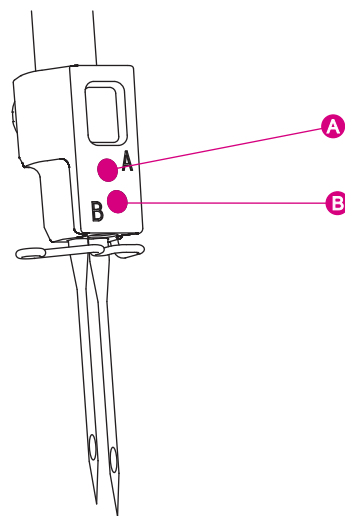
* はずみ車を手前に回して、針を一番上まで上げます。

* 厚手の布(フェルトなど)を押えの下に敷きます。針を布に突き刺さる程度に途中まで下げます。

* 針を握りながら、六角ドライバーで針止めネジを緩めます。針止めネジがはずれないようにしてください。

A. 左針

B. 右針



注: 片方の針を外した時は、忘れずに外した方の針止めネジを締めて下さい。

ネジを強く締めすぎないでください。針取り付け溝穴が破損する恐れがあります。

平らな面を向こう側にする

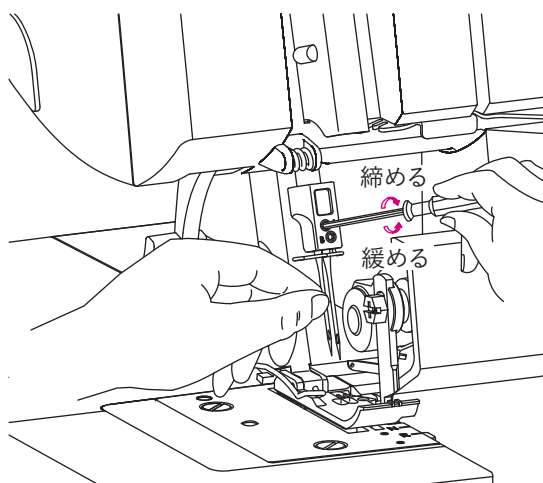


(3)針を取り付ける

*平らな面を向こう側にして針を持ちます。

*針を針取り付け溝穴に突き当たるまで差し込みます。

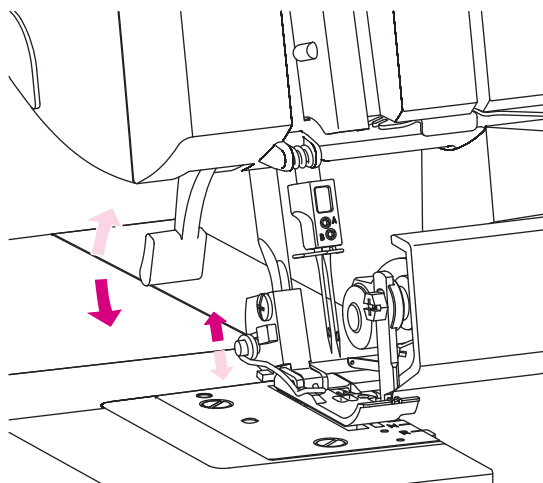
このミシンはELx705針を使います。一般の家庭用針を使わないでください。



11.押え上げレバー

*ミシン左側の押え上げレバーを下げて、押えを上げます。

*押え上げレバーをいっぱいまで下げると、押えは一段高い位置になります。



12.押えの交換



電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。

*押えを上げます。

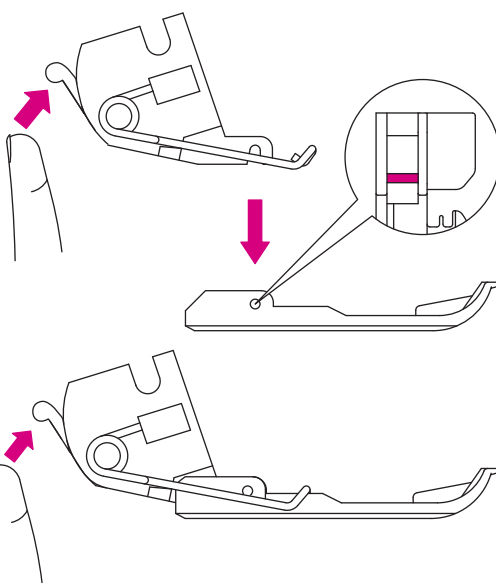
*はずみ車を手前に回して、針を一番上まで上げます。

*押えホルダーの後ろ側にある赤いボタンを押して、押えをはずします。

*押え上げレバーを一番下まで押し下げ、押えを引き出します。

*押え上げレバーを一番下まで押し下げたまま、交換する押えを押えホルダーの下に置きます。その際、押えのピンが溝の真下に来るようにします。

*押えを下げると、パチンと音がして自動的に押えがセットされます。



13.上メスの解除



必ず電源スイッチを切ってください。

(1)上メスの解除

*ルーパーカバーを開けます(11ページ参照)。

*上メスホルダーを右にいっぱいまで押します。

*上メスがカチッと音がして止まるまで、ホルダーを向こう側に回します。

(2)上メスのセット

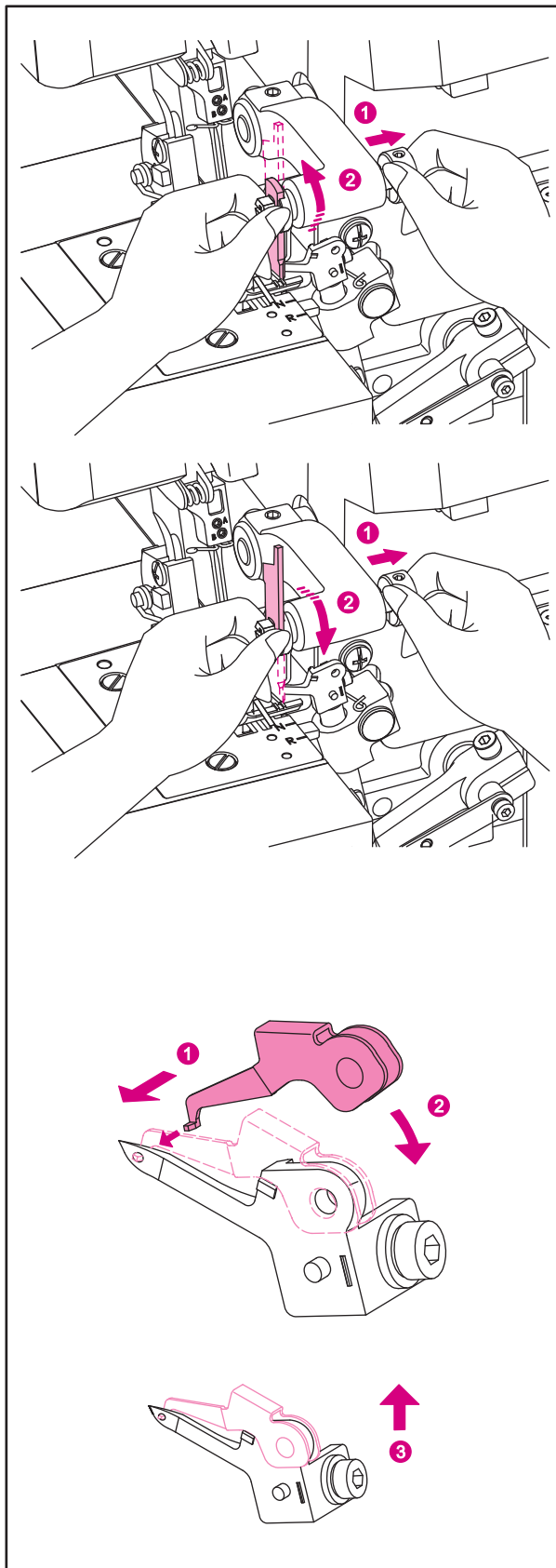
*ルーパーカバーを開けます。

*上メスホルダーを右にいっぱいまで押します。

*上メスがカチッと音がしてロック位置になるまで、ホルダーを手前側に回します。



ルーパーカバーはミシンを使用する前に必ず閉じてください。



14.2本糸切替アタッチメントの取り付けと取り外し



必ず電源スイッチを切ってください。

2本糸縫いでは上ルーパーを使用しないため、上ルーパー穴をふさぐ、2本糸切替アタッチメントを使用します。

(1)2本糸切替アタッチメントの取り付け

*2本糸切替アタッチメントの突起部(1)を上ルーパー穴にはめ込み、(2)を押しはめて固定します。

(2)2本糸切替アタッチメントの取り外し

*上ルーパーを使うときには、2本糸切替アタッチメントをはずします。

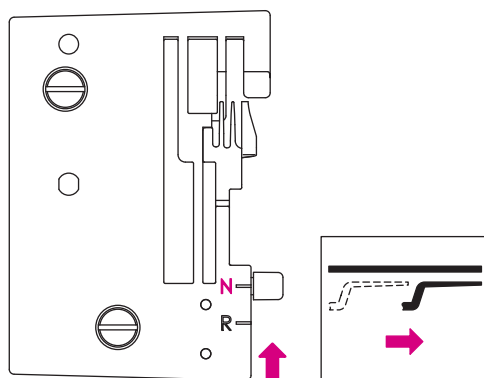
*上ルーパー穴から2本糸切替アタッチメント先端の突起部を外し、上側(3)方向に引き抜きます。

15.普通のかがり縫いと巻き縫い

(1)普通のかがり縫い

* かがり幅切替つまみをNにして、かがり爪を普通のかがり縫い位置にします。

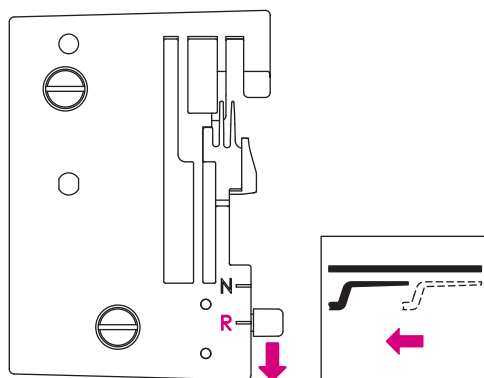
注：かがり幅切替つまみをNの方向いっぱいに押してください。



(2)巻き縫い

* かがり幅切替つまみをRにして、かがり爪を後退させ、巻き縫い位置にします。

注：かがり幅切替つまみがRの方向いっぱいになるまで引いてください。



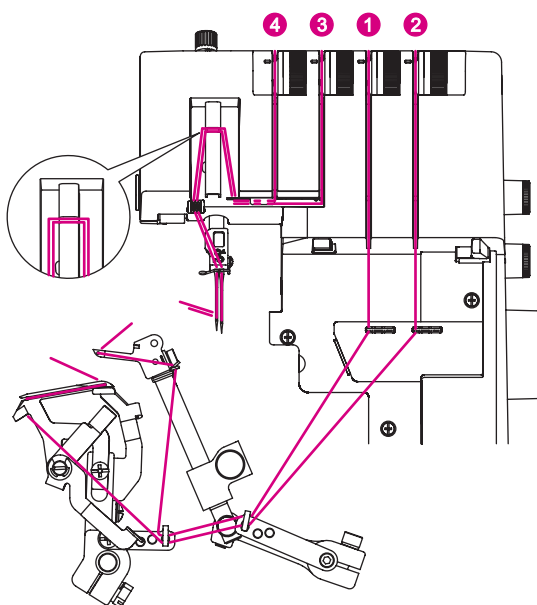
16.糸のかけ方

* 美しい縫い目を作るには正しい糸掛け順序 で糸を通してください。

糸掛け順序を間違えると縫えません。

糸掛け順序

- (1)上ルーパー糸
- (2)下ルーパー糸
- (3)右針糸
- (4)左針糸



(1) 上ルーパー糸(青色)をかける



必ず電源スイッチを切ってください。

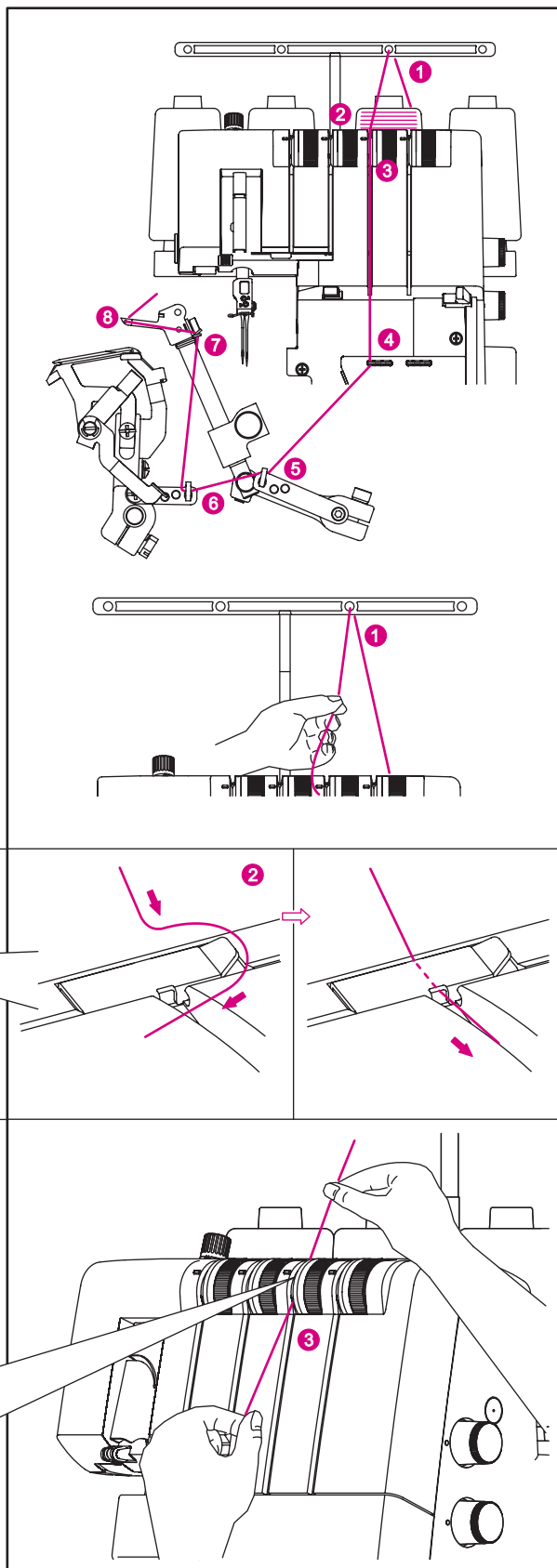
(1)～(8)のように上ルーパーに糸をかけます。

* 押えを上げて糸調子皿をゆるめます。

* 糸を糸かけ案内(1)の後ろから前へ通します。

* 糸案内(2)の下に滑り込むよう糸を左に引っ張ってかけます。

次に、図のように溝に沿って糸を引きます。



* 糸を指で持ち、糸調子皿の間に通し、糸を下に引いて、糸調子皿(3)の間にしっかりかけます。

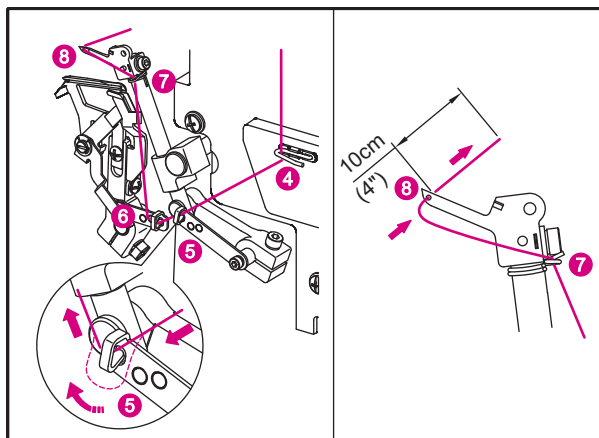
*糸をルーパー部に通します。
青色の印をたどって糸案内(4)～(7)に糸をかけます。

*上ルーパーの糸通し穴に、前側から後ろ側に通します(8)。

注：糸が下ルーパーの後ろ側を通るようにしてください

注：ルーパーカバー内側に入っているピンセットを使うとルーパーの糸かけが楽にできます。

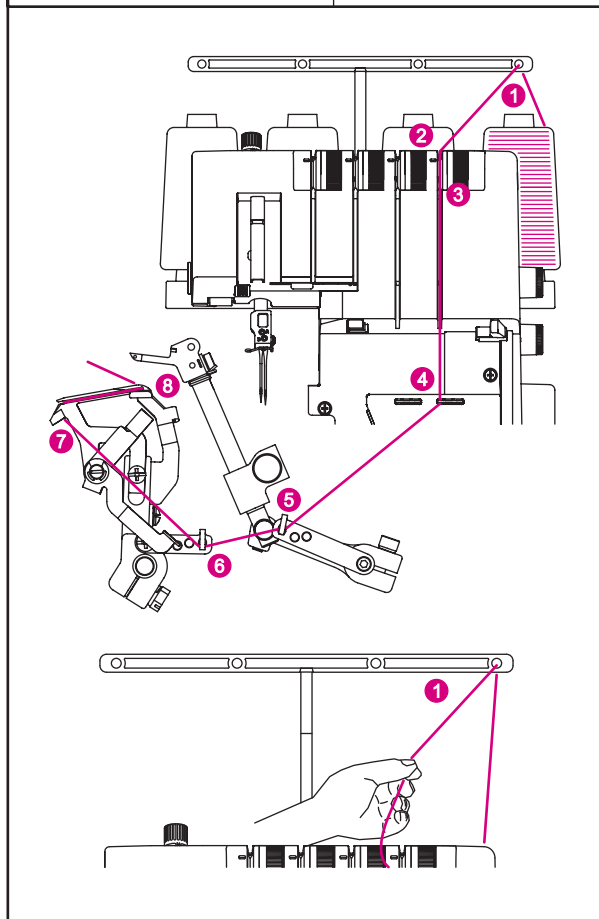
*糸を約10センチ、ルーパーから引き出し、針板の後ろ側に置きます。



(2) 下ルーパー糸(赤色)をかける

(1)～(8)のように下ルーパーに糸をかけます。

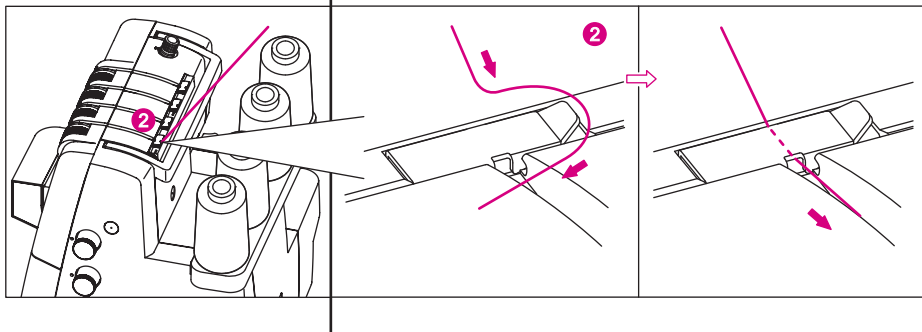
*押えを上げて糸調子皿をゆるめます。



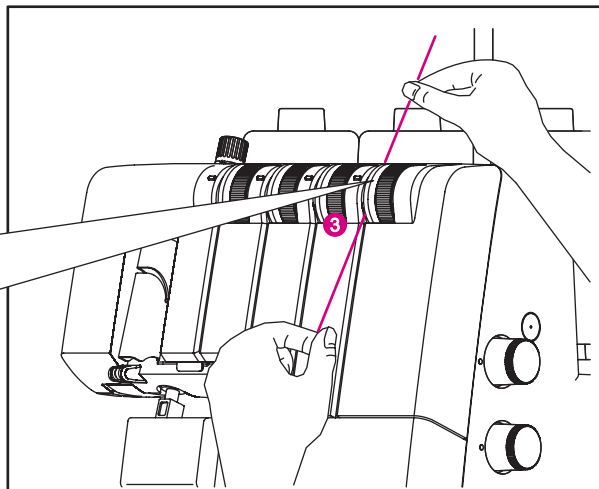
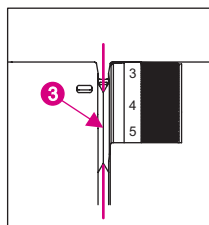
*糸を糸かけ案内(1)の後ろから前へ通します。

*糸案内(2)の下に滑り込むよう糸を左に引っ張ってかけます。

次に、図のように溝に沿って糸を引きます。



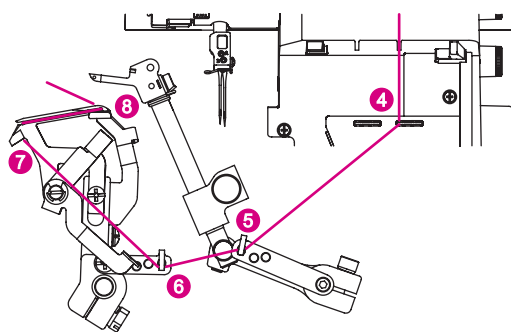
*糸を指で持ち、糸調子皿間に通し、糸を下に引いて、糸調子皿(3)の間にしっかりかけます。



*下ルーパーが針板端から5～10mm出るまで、はずみ車を手前に回します。

*赤色の印をたどって(4)～(8)に糸をかけます。

注:ルーパーカバー内側に入っているピンセットを使うとルーパーの糸かけが楽にできます。

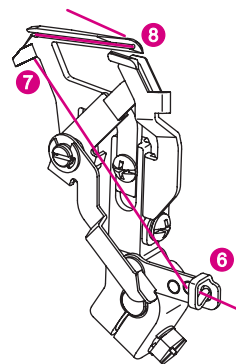
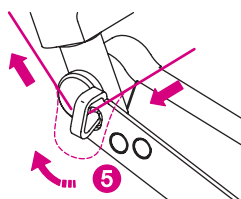
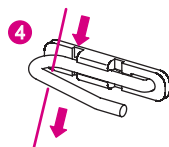


*ピンセットの先で、糸案内(4)に右から左にかけて糸をかけます。

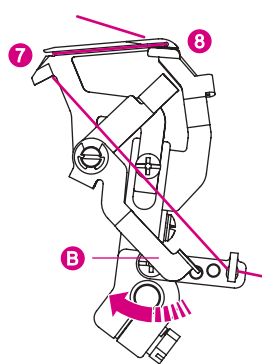
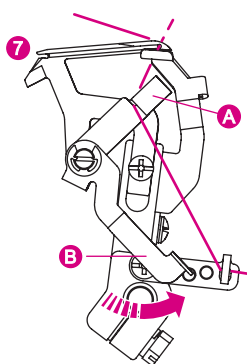
*続けて(5)～(6)の糸案内に糸をかけます。

*ルーパーの穴(8)から糸を約10cm引き出して、最後の糸案内(7)にかけます。

ヒント:かがり幅切替つまみをRにすると、糸をかけやすくなります。縫製を始める前に忘れずNに戻してください。



*ピンセットを使って、ルーパーの穴(8)に手前側から向こう側に糸を通し、左手でしっかり引きします。この時糸が糸通しの左側(A)へかかるようにします。左手で糸端をしっかりと引いたまま、糸通し(B)を定位置に引き上げて戻すと、糸が糸案内(7)にかかります。



(3) 右針糸(緑色)をかける

* (1)～(9)のように右針に糸をかけます。

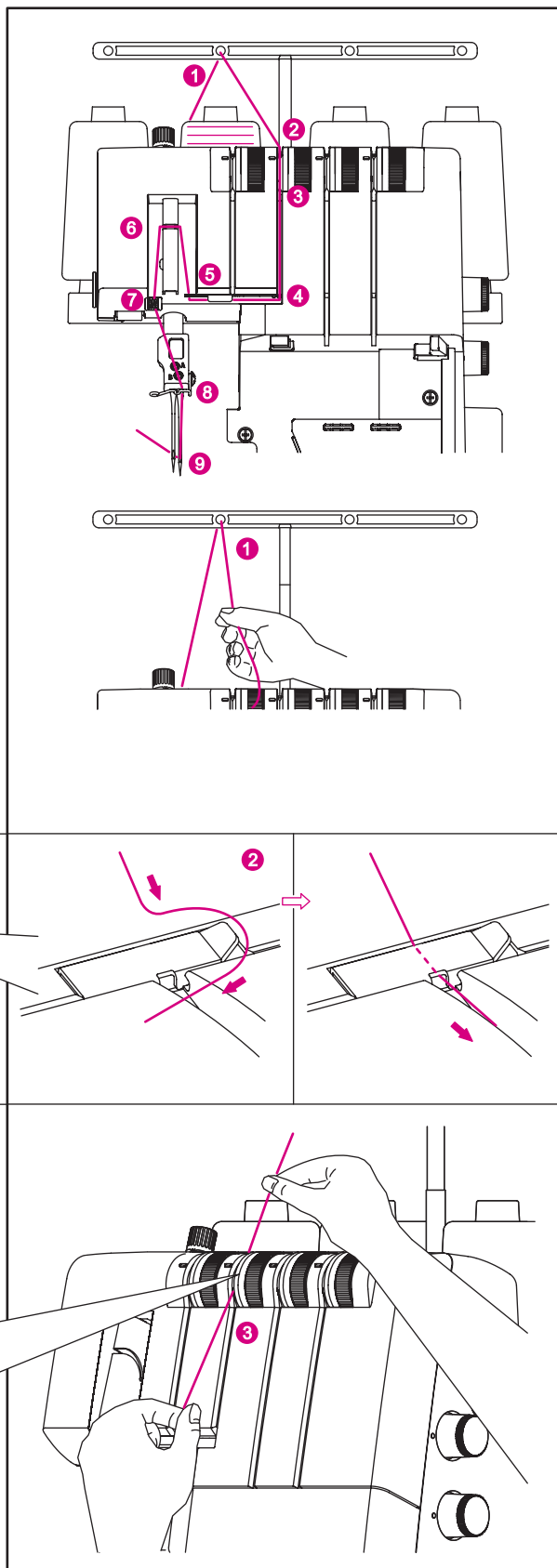
* 押えを上げて糸調子皿をゆるめます。

* 糸を糸かけ案内(1)の後ろから前へ通します。

* 糸案内(2)の下にすり込むよう糸を左に引っ張ってかけます。

次に、図のように溝に沿って糸を引きます。

* 糸を指で持ち、糸調子皿の間に通し、糸を下に引いて、糸調子皿(3)の間にしっかりかけます。



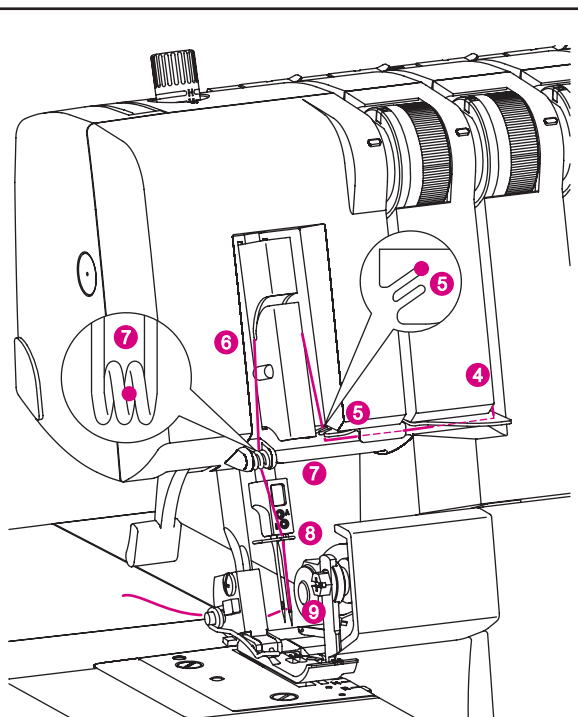
*続いて(4)～(9)に糸をかけます。

*糸を糸案内の後側溝(5)と糸調子カバーの溝(6)にかけます。次に、糸案内の右側溝(7)にかけます。

*針の穴に糸を通す前に、糸が針取り付け溝穴(8)の下部にある糸案内の向こう側を通っていることを確認してください。

*針の穴に糸を通します。針糸通し(22ページ)を使うと、針の穴に通しやすくなります。

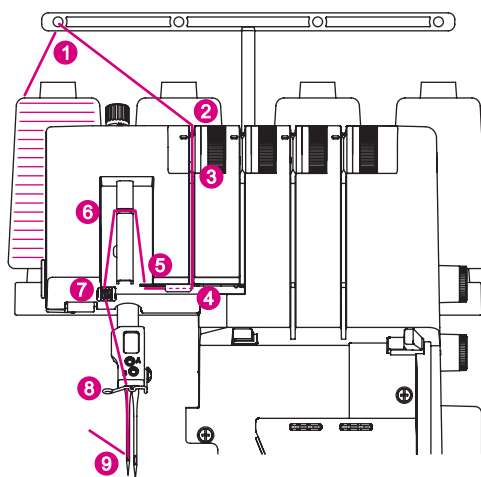
*針の穴から10cmほど引き出して押えの下に入れ、後ろに出します。



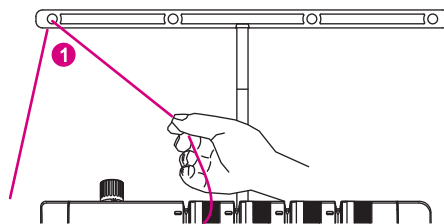
(4)左針糸(黄色)をかける

* (1)～(9)のように左針に糸をかけます。

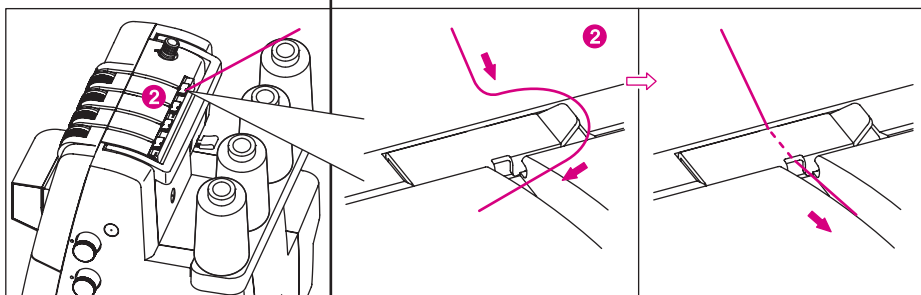
* 押えを上げて糸調子皿をゆるめます。



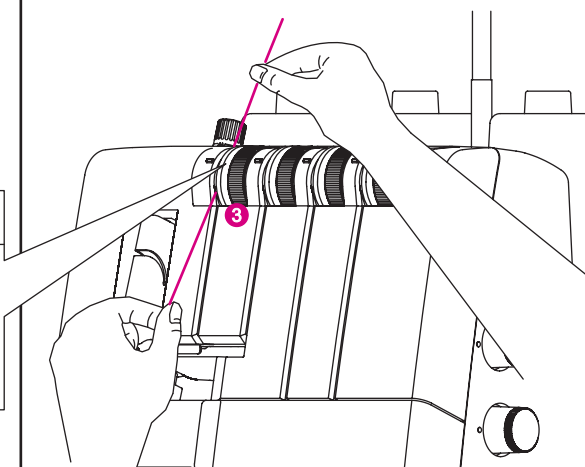
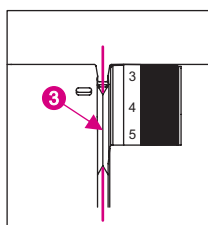
*糸を糸かけ案内(1)の後ろから前へ通します。



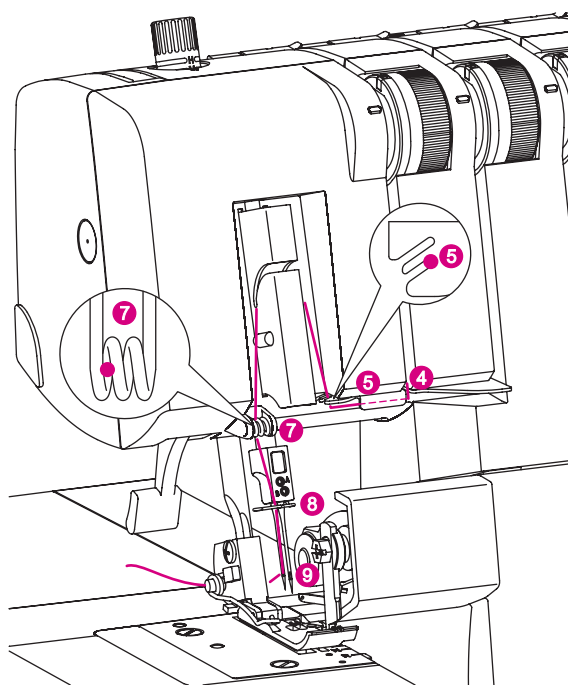
- * 糸案内(2)の下に滑り込むよう糸を左に引っ張ってかけます。
次に、図のように溝に沿って糸を引きます。



- * 糸を指で持ち、糸調子皿の間に通し、糸を下に引いて、糸調子皿(3)の間にしっかりかけます。



- * 続いて(4)～(8)に糸をかけます。
- * 糸を糸案内の前側溝(5)と糸調子カバーの溝(6)にかけます。次に、糸を糸案内の左側溝(7)にかけます。
- * 針の穴に糸を通す前に、必ず糸が針取り付け溝穴(8)の下側にある糸案内の向こう側にあることを確かめます。
- * 針の穴に糸を通します。針糸通し(22ページ)を使うと、針の穴に通しやすくなります。
- * 針の穴から10cmほど引き出して押えの下に入れ、後ろに出します。



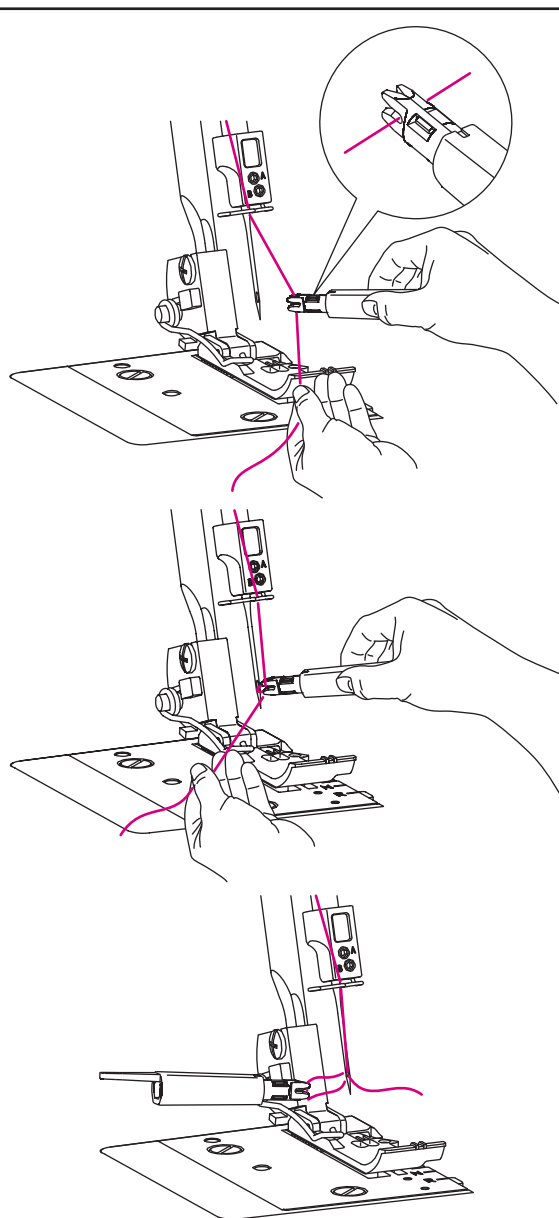
17.針糸通し

*付属品の針糸通しを使うと、糸を通しやすくなります。

*はずみ車を回して針を一番高い位置にし、
押えを下げます。

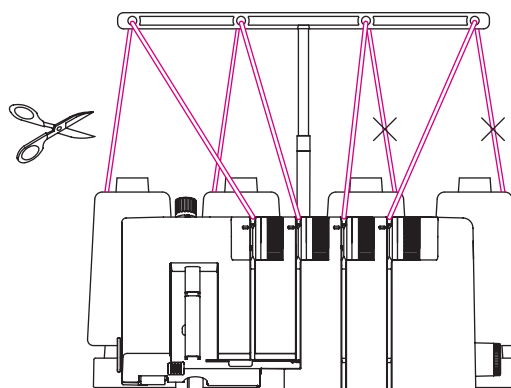
針糸通し器の長方形マークを上にして持ち、
糸を針糸通し器先端のくぼみに右から左に差
し込みます。

*針糸通し器を針に当て、針穴に向かって軽く押
しながら下にスライドさせると針に糸が通ります。



18.糸を変更する:結び方

*糸の種類や色を変更するには、糸ゴマの近くで糸
を切ります。



- * 変える糸ゴマを糸立て台に置きます。
- * 変える糸と元の糸を結びます。
糸の端を2~3cm残して切ります。短く切りすぎると、糸がゆるむおそれがあります。
- * 結び目を強く引っ張ってみて、しっかり結ばれているか確かめます。
- * 押えを上げて糸調子皿をゆるめます。
- * かけた糸を1本ずつ引っ張ってみます。
- * 糸が引っ張りにくい場合は、糸案内でもつれていたり、糸立ての下側で輪になってひっかかっているか確認してください。
- * 針から糸を引っ張り、結び目が針の手前に来たところで**止めます**。
- * 糸を切って針に通します。

19.縫い目の長さ(送り)の調節

- * 数字が大きいほど、縫い目(送り)が長くなります。
縫い目の長さは連続的に変更可能で、縫製中でも1~5mmの範囲で調節できます。ほとんどのオーバーロックは基本設定「-」(2.5mm)に調整します。
- * 全巻き縫いや細ロック縫いの場合は、つまみ設定を「1~1.5」にするのが最適です。

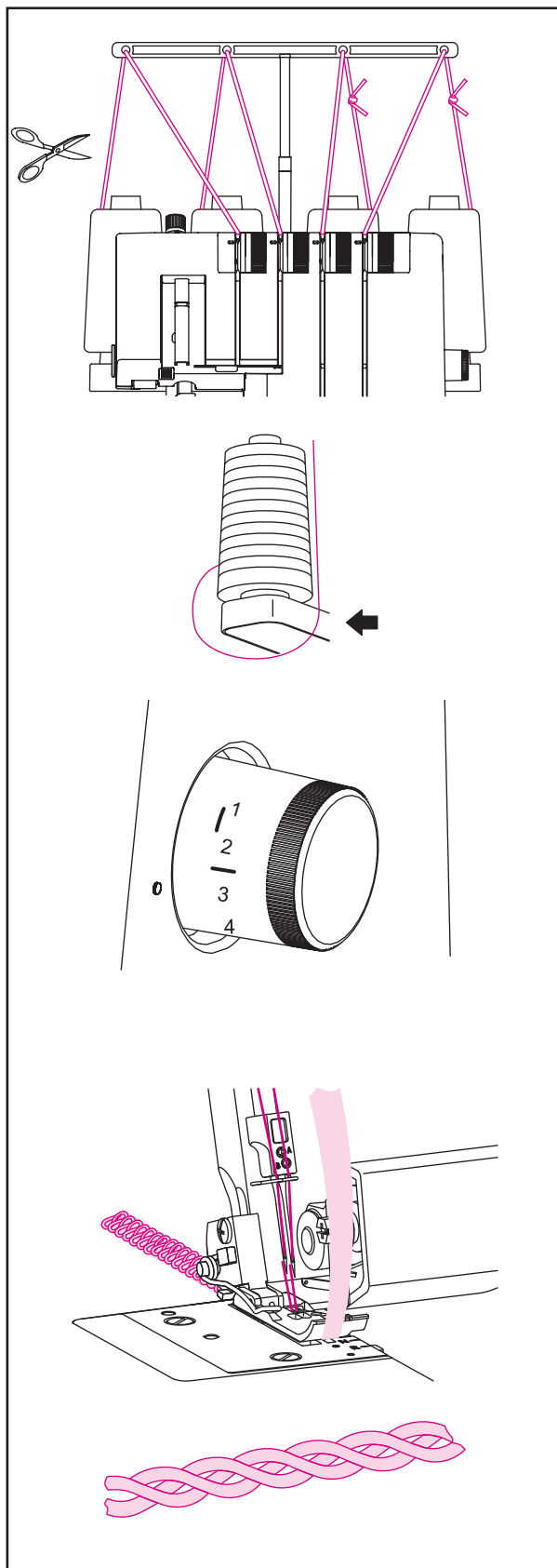
20.縫製のヒント

(1)縫い終わりの始末

- * 空環を大きな穴の手縫い針に通します。
- * 縫い目の端中に針を通し、縫いはじめ、または、縫い終わりの糸がほつれないようにします。

(2)空環ブレード

- * 上メスを解除します(14ページ参照)。
- * 編み糸や綾織物テープなどのフィラーコードを押え前面の穴に通します。
- * フィラーコードを押えの下に置き、希望の長さで空環を出します。
- * 空環ブレードは1本撚りでも、3~4本撚りでも編むことができます。

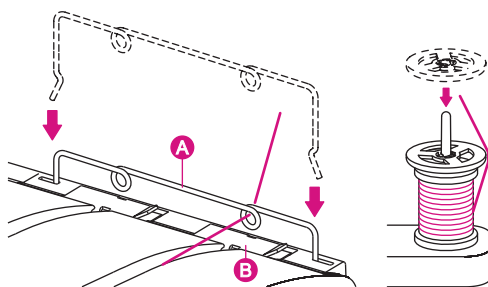


(3)ルーパーに太い装飾糸を使って縫う

*装飾糸は太いため、うまく縫うために通常の糸より糸調子を弱めます。

*太い装飾糸をかける際は、右図のように裏カバーに太糸用糸案内(A)を取り付けます。

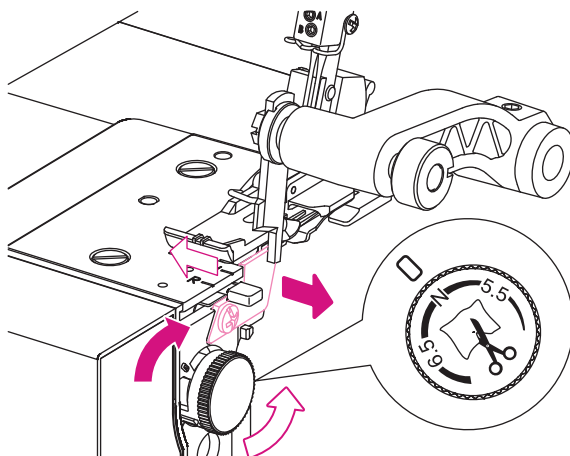
*糸を右図のように糸案内(B)に通します。



注: 装飾糸を使用するときは、糸が糸コマの端に引っかかるのを防ぐために、図のように糸コマ押えを取り付けてください。

21.かがり幅の調節

*かがり幅は、針位置の変更と下メス位置調節つまみで調節します。

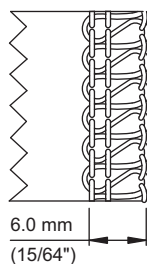


(1)針の位置を変えてかがり幅を調節する

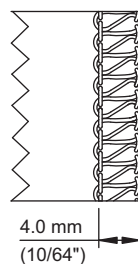
*かがり幅を針の位置を変えることで調節します。

(a)左針を使用する場合.....6mm
(15/64 inch)

(b)右針のみを使用する場合.....4mm
(10/64 inch)



(a)左針



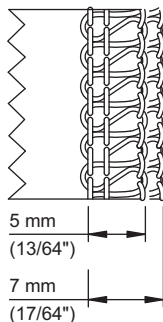
(b)右針

(2)下メス位置調節つまみでかがり幅を調節する

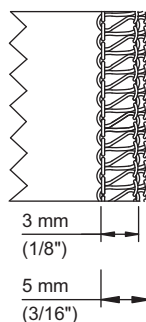
*下メス位置調節つまみを使用すると、次の範囲内でさらに幅広く調節できます。

(a)左針を使用する場合.....5~7mm
(13/64 ~ 17/64 inch)

(b)右針のみを使用する場合.....3~5mm
(1/8 ~ 3/16 inch)



(a)左針

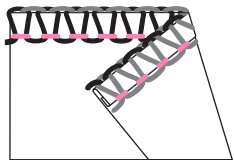
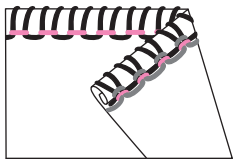
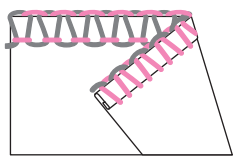
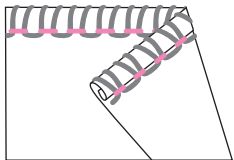


(b)右針

22. ステッチの種類

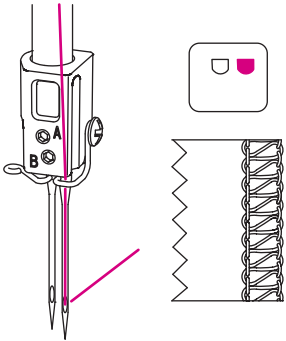
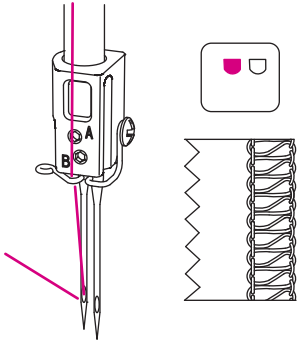
このミシンは、針の位置、糸のかけ方、糸調子、切替式ルーパー / 2 本糸切替アタッチメントにより、さまざまな種類の縫い方ができます。

ステッチの種類	● 左針	● 右針	● 上ルーパー	● 下ルーパー	ページ
1. 2 本糸全巻き縫い (広幅)	●	○	○	●	32
2. 2 本糸全巻き縫い (細幅)	○	●	○	●	
3. 2 本糸縁かがり縫い (広幅)	●	○	○	●	32
4. 2 本糸縁かがり縫い (細幅)	○	●	○	●	
5. 2 本糸開き縫い (広幅)	●	○	○	●	32
6. 2 本糸開き縫い (細幅)	○	●	○	●	
7. 3 本糸縁かがり縫い (広幅)	●	○	●	●	33
8. 3 本糸縁かがり縫い (細幅)	○	●	●	●	
9. 3 本糸開き縫い (広幅)	●	○	●	●	33
10. 3 本糸開き縫い (細幅)	○	●	●	●	
11. 3 本糸スーパー ストレッチ縫い	●	●	○	●	33
12. 4 本糸合わせ縁 かがり縫い	●	●	●	●	34

ステッチの種類	● 左針 ● 右針 ● 上ルーパー ● 下ルーパー	ページ
13. 3 本糸細ロック縫い ○ ● ● ● ○	 1 本針 3 本糸細ロック縫いは、薄手の布地の縁縫いに使います。巻き縫いをきれいにするには、上ルーパーに装飾糸を用い、針と下ルーパーに細手の一般糸を用います。	34
14. 3 本糸全巻き縫い ○ ● ● ● ○	 1 本針 3 本糸全巻き縫いは、巻き縫いに使います。	34
15. 2 本糸細ロック縫い ○ ● ○ ● ○	 1 本針 2 本糸細ロック縫いは、薄手の布地の縁縫いに使います。	34
16. 2 本糸全巻き縫い ○ ● ○ ● ○	 1 本針 2 本糸全巻き縫いは、薄手の布地の縁縫いに使います。	34

* 針の位置に応じて、このミシンは 2 本糸 / 3 本糸標準幅 4mm かがり縫いと 6mm 幅かがり縫いをおこなうことができます。

* また、厚物の生地の際縫いには、下メス位置調節つまみを回してかがり幅をさらに広げることができます。(24 ページを参照)。

かがり幅	4.0 mm	6.0 mm
使用針	右針	左針
糸調子ダイヤル	緑色	黄色
		

23.ステッチ概要

* 次のページの表に示す設定は、一般的な条件のもとでの目安です。使用するステッチや布の種類、糸に応じて、糸調子を調節する必要がある場合があります。

* 糸調子の調節をうまく行なうには、一度に 0.5 以下の単位で数値を調節してください。

* 本番の縫製前に必ず試し縫いしてください。

* 糸調子と針位置の設定、糸のかけ方、2 本糸切替アタッチメントの使用の有無により、得られるステッチは異なります。

* 糸調子ダイヤルの数値を大きくするほど糸調子が強くなります。このページや取扱説明書の各所で示されている糸調子の設定は、あくまで目安です。

設定早見表

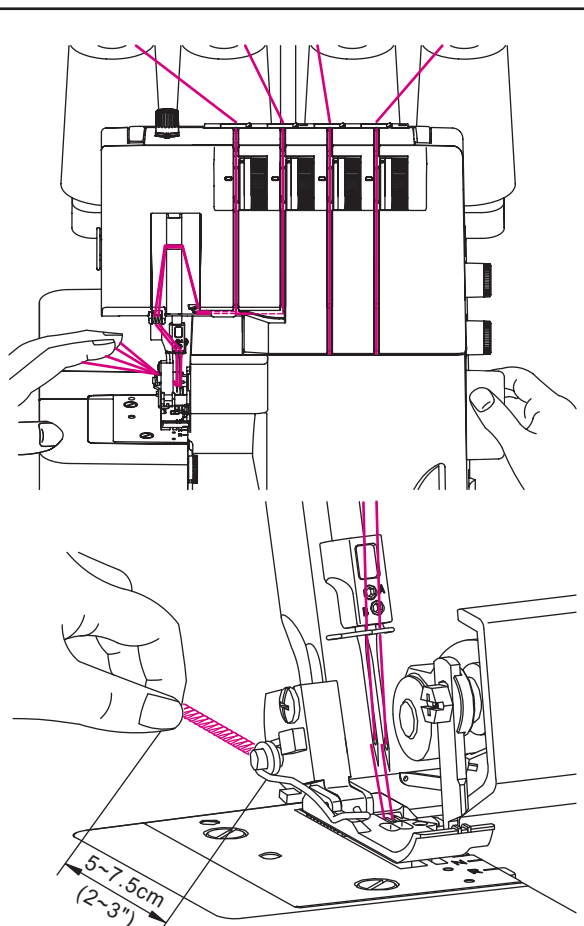
	ステッチの種類	送り	差動	かがり爪	メス罫	2本糸切端アタチメント	針の位置	調子ダイヤル:表示されている数値は、標準の# 60 ポリエステル紡績糸を使用した中物布地の平均的設定です。				ハイ
								黄色	緑色	青色	赤色	
1	2本糸全巻き縫い (広幅)	2	N	N	N	Yes	6.0mm 	4.0			3.2	32
2	2本糸全巻き縫い (細幅)	2	N	N	N	Yes	4.0mm 		4.0		3.5	
3	2本糸縁かがり縫い (広幅)	2	N	N	N	Yes	6.0mm 	0.0			5.0	
4	2本糸縁かがり縫い (細幅)	2	N	N	N	Yes	4.0mm 		0.0		5.5	
5	2本糸開き縫い (広幅)	2	N	N	N	Yes	6.0mm 	0.0			5.0	
6	2本糸開き縫い (細幅)	2	N	N	N	Yes	4.0mm 		0.0		5.5	
7	3本糸縁かがり縫い (広幅)	2.5	N	N	N	No	6.0mm 	4.0		4.0	4.0	33
8	3本糸縁かがり縫い (細幅)	2.5	N	N	6.5	No	4.0mm 		4.0	4.0	4.0	
9	3本糸開き縫い (広幅)	2	N	N	N	No	6.0mm 	0.0		4.3	8.5	
10	3本糸開き縫い (細幅)	2	N	N	N	No	4.0mm 		0.0	5.0	8.5	
11	3本糸スーパーストレッチ縫い	2	N	N	N	Yes		4.0	4.0		3.2	
12	4本糸合わせ縁かがり縫い	2.5	N	N	N	No		4.0	4.0	4.0	4.0	34
13	3本糸細ロック縫い *	1.5	N	R	N	No	4.0mm 		4.0	5.0	4.0	
14	3本糸全巻き縫い*	1	N	R	N	No	4.0mm 		4.0	4.0	7.0	
15	2本糸細ロック縫い *	1.5	N	R	N	Yes	4.0mm 		0.0		4.5	
16	2本糸全巻き縫い*	1	N	R	N	Yes	4.0mm 		4.0		4.5	

* 厚物の織物や、中物から厚物のストレッチ生地にはこの設定は当てはまりません。

24. 試し縫いと空環の出し方

(1) 試し縫い

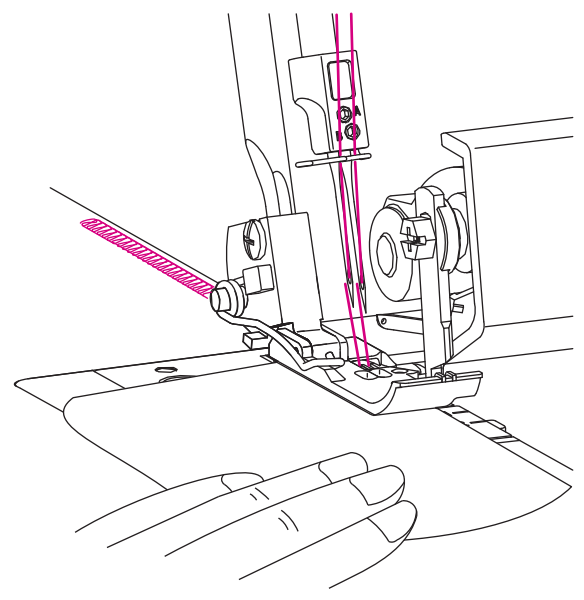
- * ミシンに糸通しが終わったら、すべての糸を針板の上に集め、押えの下でわずかに左側に出します。
- * はずみ車をゆっくり手前に回して、上メスが下メスに対して正しく動くか確かめます。メスが正しく動かない場合は、メスの間に残り布や糸くずが詰まっていないか確かめます。
- * 糸をつかみ、わずかに引っ張ります。
- * はずみ車を手前に2～3回転させて空環を少し出します。
- * 押えを下げます。
- * 空環を持ち、空環の長さが5～8cmになるまでコントローラーを踏みます。
- * 布を押えの手前下に置き、試し縫いします。縫っている間、布が正しく進むよう左手を布に添えます。縫っている最中に布を引っ張らないでください。針が曲がって破損する恐れがあります。



(2) 空環の出し方

- * 布の端に達したら、縫い終わった布をゆっくりと奥側左方向に引きながら縫い続け空環を出します。これにより糸がほどけるのを防ぎ、次の縫製作業に備えます。
- * ミシンの左側にある糸切り刃を使って、押えから2～5cmのところで空環を切り取ります。糸切り刃の周りの糸を後ろ側に引き、次に手前に引きます。

注: ミシンに糸をかけ直したときは、必ず空環を出し、試し縫いをして糸調子を確かめ、必要に応じて調節してください。



25.巻き縫い

巻き縫いは、ローン、ボイル、オーガンジー、などの薄手生地に適しています。

巻き縫いは、糸調子を調節して、かがり縫いをしながら布端をくるむ縫い方です。糸調子を調節して、くるみ具合を変えます。

巻き縫いをするには、かがり幅切替つまみをRにします。

注：巻き縫いをきれいにするには、上ルーパーに装飾糸を用い、針と下ルーパーに細手の一般糸を用います。

注：本番の縫製前に必ず空環を出し、試し縫いしてください。縫い始めるまでは空環を持ち、縫い目に巻き付かないようにします。

注：巻き縫いの最小かがり幅は約1.5mmです。

26.開き縫い

開き縫いは、縫い目を縫い合わせ、布地を引き離して縫い目を平らにする縫い方です。開き縫いは、2枚の布を縫い合わせる装飾縫い(一般開き縫い)もできますし、1枚の布地だけを用いる装飾(装飾開き縫い)もできます。

開き縫いは2つの方法があります。布の裏側を合わせて装飾的な外観にするか、表側を合わせてラダーステッチにします。

(1)一般開き縫い

* 左針でも右針でも使えます。

* 2本針開き縫い：2本糸切替アタッチメントを使います(14ページ)。下ルーパーと左針または右針に糸を通します。

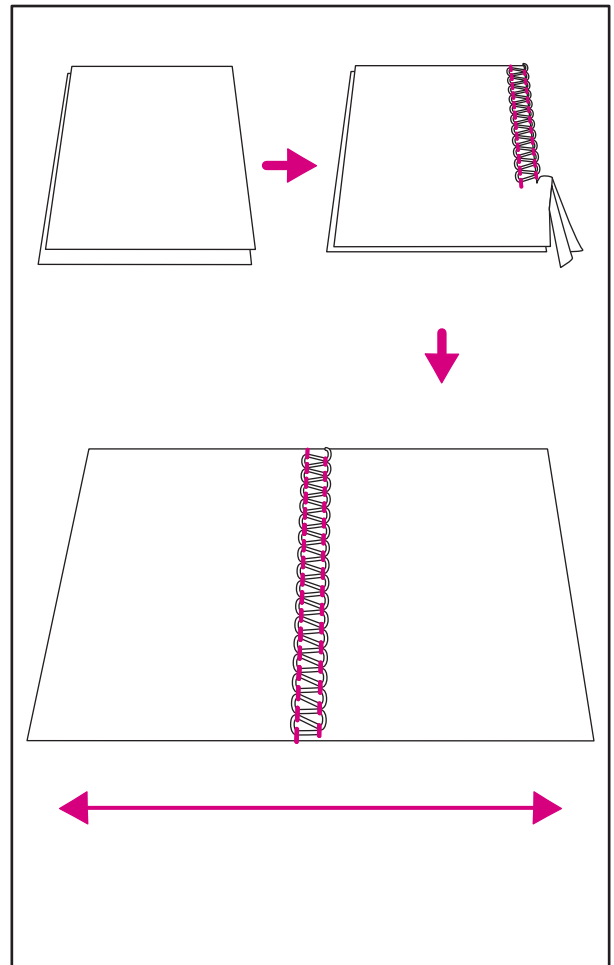
* 3本針開き縫い：上下ルーパーと左針または右針に糸を通します。

* 「設定早見表」(27ページ)に従ってミシンを設定してください。

* 2枚の布の裏側を合わせて、衣服の表側に装飾縫いを施します。

* 余分な布をカットしながら、縫い目を縫います。針糸は布の下側にV字を形成します。下ルーパー糸は布端で直線になります。

* 布を広げ、縫い目の両側を引っ張って縫い目を平らにします。



(2)装飾開き縫い

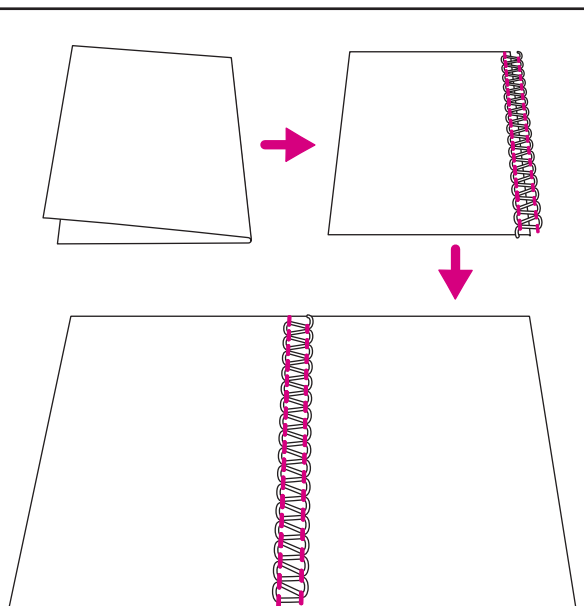
* 上メスを解除します(14ページ参照)。布はこの縫い方ではカットしません。

* 布を折って裏側を合わせ、衣服の表側(折り目)から装飾ステッチを縫います。

* 縫い目の一部が布地からはみ出して縫い合わせできるように布地をセットします。

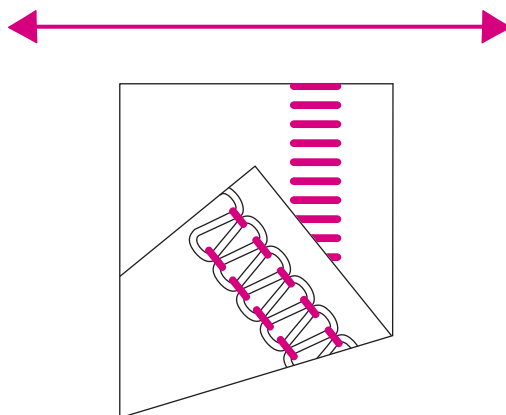
* 布を広げ、縫い目の両側を引っ張って平らにします。

ヒント:開き縫いでは、上ルーパー糸が主系になります。上ルーパーに装飾糸を、下ルーパーと針に通常の糸を用いてください。



(3)ラダーステッチ

ラダーステッチを作るには、布を中表に合わせて縫います。針糸がラダーを作る主系になります。



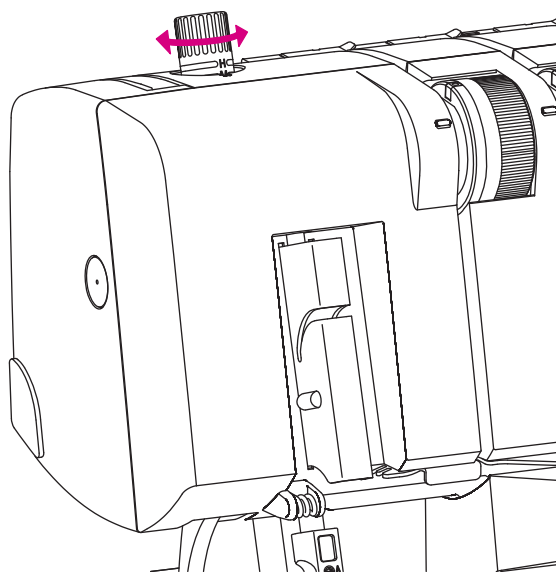
27.押え圧の調節

通常の状態縫うときは、押え圧をMにしてください。場合によっては調整が必要になることもあります。正しい縫い目になるまで圧力を増減します。本番の縫製前に必ず試し縫いしてください。このミシンの押え圧は、中物縫いに合うよう工場であらかじめ調節されています。

* この場合、Mは通常、Lは最低圧、Hは最高圧となります。

* 薄手の生地の場合…圧力を下げます。

* 厚手の生地の場合…圧力を上げます。



28.差動送り

差動送りは、前後に配置された2つの送り歯からなります。送り歯はそれぞれ独立して動き、特殊な布地を縫うときに効果を発揮します。

前歯の送り量を後歯の送り量に対して変えることで、布を「ストレッチ」させたり「ギャザー」させたりできます。

差動送りにより、ニット生地や薄手生地のを防ぎます。

通常の布地にかがり縫いするときは、差動調節つまみをNに設定します。

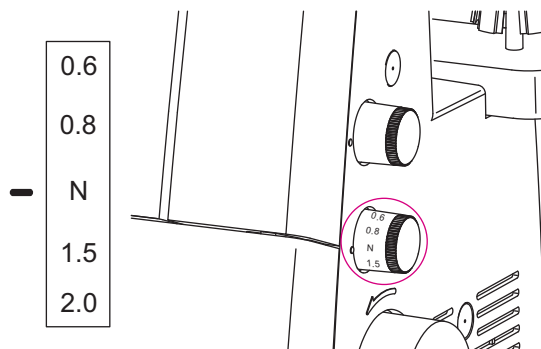
(1) ギャザーオーバーロック (伸縮生地、ニット生地)

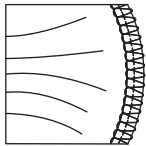
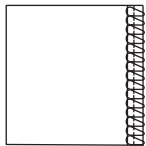
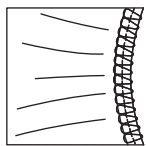
ニットやジャージなどの伸縮素材をかがり縫いするときは、差動送りをNから2.0の間に調節します。設定は、縫製する素材と必要なギャザリング量により変わります。本番縫いする前に、いろいろな設定で試し縫いしてください。

(2) ストレッチオーバーロック (薄手布地)

シルクやシルキーニットなど、薄手の布やゆるく編まれた布をかがり縫いするときは、差動送りを0.6からNの間に調節します。縫う時は、縫い目を押えの前後で軽く持ってやさしく伸ばしながら縫います。

設定は、縫製する素材と必要なストレッチ量により変わります。本番縫いする前に、いろいろな設定で試し縫いしてください。



布地	差動送りN調節	調整
伸縮生地 (ニット、ジャージー)		N-2.0
非伸縮生地 (チノ、デニム)		N
薄手生地 (シルク、シルキー、ニット)		0.6-N

29.糸調子設定の目安

糸調子の設定は次の影響を受けます。

- *生地の種類と厚さ
- *針の太さ
- *糸の太さ、種類および繊維

(1)2本糸全巻き縫い

- * 下ルーパー糸の糸調子が強すぎるか、針糸の糸調子が弱すぎるとき：
 - 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が小さくなる方に回します。
 - または、針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が大きくなる方に回します。

- * 下ルーパー糸の糸調子が弱すぎるとき：
 - 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。

(2)2本糸縁かがり縫い

- * 上ルーパーに2本糸切替アタッチメントを取り付ける方法については、14ページを参照してください。

- * 下ルーパー糸が布の下側にあるとき：
 - 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。
 - または、針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が小さくなる方に回します。

- * 針糸の糸調子が弱すぎるとき：
 - 針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が大きくなる方に回します。
 - または、下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が小さくなる方に回します。

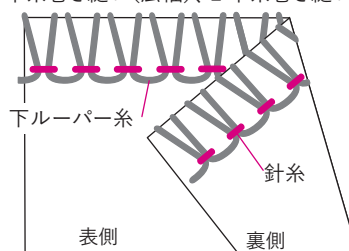
(3)2本糸開き縫い

- * 上ルーパーに2本糸切替アタッチメントを取り付ける方法については、14ページを参照してください。

- * 下ルーパー糸が布の裏側にあるとき：
 - 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。
 - または、針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が小さくなる方に回します。

- * 針糸の糸調子が弱すぎるとき：
 - 針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が大きくなる方に回します。
 - または、下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が小さくなる方に回します。

(1) 2本糸巻き縫い(広幅)、2本糸巻き縫い(細幅)



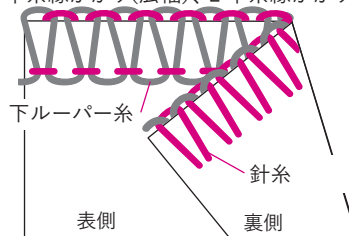
(a) 2本糸巻き縫い(広幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	4.0		2本糸切替アタッチメント	3.2

(b) 2本糸巻き縫い(細幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物		4.0	2本糸切替アタッチメント	3.5

(2) 2本糸縁かがり(広幅)、2本糸縁かがり(細幅)



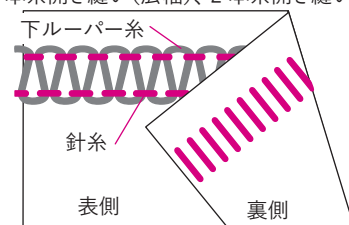
(a) 2本糸縁かがり(広幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	0.0		2本糸切替アタッチメント	5.0

(b) 2本糸縁かがり(細幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物		0.0	2本糸切替アタッチメント	5.5

(3) 2本糸開き縫い(広幅)、2本糸開き縫い(細幅)



(a) 2本糸開き縫い(広幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	0.0		2本糸切替アタッチメント	5.0

(b) 2本糸開き縫い(細幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物		0.0	2本糸切替アタッチメント	5.5

(4) 3本糸縁かがり

* 上ルーパー糸が布の裏側にあるとき:

- 上ルーパー糸調子ダイヤル(青色)を数値が大きくなる方に回します。
- または、下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が小さくなる方に回します。

* 下ルーパー糸が布の表側にあるとき:

- 上ルーパー糸調子ダイヤル(青色)を数値が小さくなる方に回します。
- または、下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。

* 針糸が弱すぎるときは、針糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が大きくなる方に回します。

(5) 3本糸開き縫い

* 下ルーパー糸の糸調子が弱すぎるとき:

- 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。
- または、針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が小さくなる方に回します。

* 上下ルーパー糸の糸調子が弱すぎるとき:

- 上ルーパー糸調子ダイヤル(青色)を数値が大きくなる方に回します。
- または、針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が小さくなる方に回します。

* 針糸の糸調子が弱すぎるとき:

- 針糸の糸調子ダイヤル(黄色または緑色)を数値が大きくなる方に回します。
- または、上ルーパー糸調子ダイヤル(青色)を数値が小さくなる方に回します。

(6) 3本糸スーパーストレッチ縫い

* 下ルーパー糸の糸調子が弱すぎるとき:

- 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。

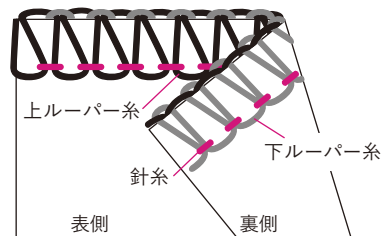
* 針糸の糸調子が弱すぎるとき:

- 針糸の糸調子ダイヤル(黄色)を数値が大きくなる方に回します。

* 針糸の糸調子が弱すぎるとき:

- 針糸の糸調子ダイヤル(緑色)を数値が大きくなる方に回します。

(4) 3本糸縁かがり(広幅)、3本糸縁かがり(細幅)



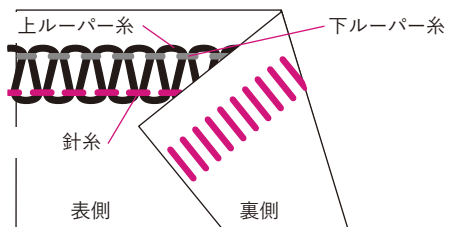
(a) 3本糸縁かがり(広幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	4.0		4.0	4.0

(b) 3本糸縁かがり(細幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物		4.0	4.0	4.0

(5) 3本糸開き縫い(広幅)、3本糸開き縫い(細幅)



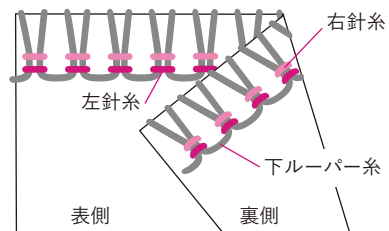
(a) 3本糸開き縫い(広幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	0.0		4.3	8.5

(b) 3本糸開き縫い(細幅)

布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物		0.0	5.0	8.5

(6) 3本糸スーパーストレッチ縫い

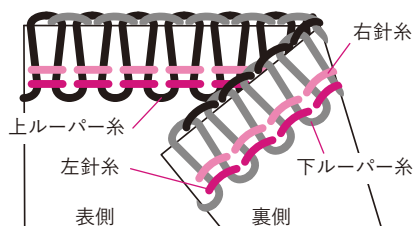


布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	4.0	4.0	2本糸切替アタッチメント	3.2

(7)4本糸合わせ縁かがり縫い

- * 上ルーパー糸が布の裏側にあるとき：
 - 上ルーパー糸調子ダイヤル(青色)を数値が大きくなる方に回します。
 - または、下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が小さくなる方に回します。
- * 下ルーパー糸が布の表側にあるとき：
 - 下ルーパー糸調子ダイヤル(赤色)を数値が大きくなる方に回します。
 - または、上ルーパー糸調子ダイヤル(青色)を数値が小さくなる方に回します。
- * 針糸の糸調子が弱すぎるとき：
 - 針糸の糸調子ダイヤル(黄色)を数値が大きくなる方に回します。
- * 針糸の糸調子が弱すぎるとき：
 - 針糸の糸調子ダイヤル(緑色)を数値が大きくなる方に回します。

(7) 4本糸合わせ縁かがり縫い



布地	糸調子ダイヤル			
	黄色	緑色	青色	赤色
中物	4.0	4.0	4.0	4.0

(8)細ロック縫いと巻き縫い

(a)3本糸細ロック縫い		<table><tr><th rowspan="2">薄手生地</th><th colspan="4">糸調子ダイヤル</th></tr><tr><th>黄色</th><th>緑色</th><th>青色</th><th>赤色</th></tr><tr><td>ポリエステル</td><td></td><td>4.0</td><td>5.0</td><td>4.0</td></tr><tr><td>ウーリーナイロン</td><td></td><td>4.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td></tr></table>	薄手生地	糸調子ダイヤル				黄色	緑色	青色	赤色	ポリエステル		4.0	5.0	4.0	ウーリーナイロン		4.0	2.0	2.5
薄手生地	糸調子ダイヤル																				
	黄色	緑色	青色	赤色																	
ポリエステル		4.0	5.0	4.0																	
ウーリーナイロン		4.0	2.0	2.5																	
(b)3本糸全巻き縫い		<table><tr><th rowspan="2">薄手生地</th><th colspan="4">糸調子ダイヤル</th></tr><tr><th>黄色</th><th>緑色</th><th>青色</th><th>赤色</th></tr><tr><td>ポリエステル</td><td></td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>7.0</td></tr><tr><td>ウーリーナイロン</td><td></td><td>4.0</td><td>2.0</td><td>4.0</td></tr></table>	薄手生地	糸調子ダイヤル				黄色	緑色	青色	赤色	ポリエステル		4.0	4.0	7.0	ウーリーナイロン		4.0	2.0	4.0
薄手生地	糸調子ダイヤル																				
	黄色	緑色	青色	赤色																	
ポリエステル		4.0	4.0	7.0																	
ウーリーナイロン		4.0	2.0	4.0																	
(c)2本糸細ロック縫い		<table><tr><th rowspan="2">薄手生地</th><th colspan="4">糸調子ダイヤル</th></tr><tr><th>黄色</th><th>緑色</th><th>青色</th><th>赤色</th></tr><tr><td>ポリエステル</td><td></td><td>0.0</td><td>2本糸切替アタッチメント</td><td>4.5</td></tr><tr><td>ウーリーナイロン</td><td></td><td>4.0</td><td>2本糸切替アタッチメント</td><td>3.2</td></tr></table>	薄手生地	糸調子ダイヤル				黄色	緑色	青色	赤色	ポリエステル		0.0	2本糸切替アタッチメント	4.5	ウーリーナイロン		4.0	2本糸切替アタッチメント	3.2
薄手生地	糸調子ダイヤル																				
	黄色	緑色	青色	赤色																	
ポリエステル		0.0	2本糸切替アタッチメント	4.5																	
ウーリーナイロン		4.0	2本糸切替アタッチメント	3.2																	
(d)2本糸全巻き縫い		<table><tr><th rowspan="2">薄手生地</th><th colspan="4">糸調子ダイヤル</th></tr><tr><th>黄色</th><th>緑色</th><th>青色</th><th>赤色</th></tr><tr><td>ポリエステル</td><td></td><td>4.0</td><td>2本糸切替アタッチメント</td><td>4.5</td></tr><tr><td>ウーリーナイロン</td><td></td><td>3.5</td><td>2本糸切替アタッチメント</td><td>3.5</td></tr></table>	薄手生地	糸調子ダイヤル				黄色	緑色	青色	赤色	ポリエステル		4.0	2本糸切替アタッチメント	4.5	ウーリーナイロン		3.5	2本糸切替アタッチメント	3.5
薄手生地	糸調子ダイヤル																				
	黄色	緑色	青色	赤色																	
ポリエステル		4.0	2本糸切替アタッチメント	4.5																	
ウーリーナイロン		3.5	2本糸切替アタッチメント	3.5																	

30.お手入れ

オーバーロックミシンは、次の2つの理由から普通のミシンよりもお手入れを多く必要とします。

- (a)メスの切断動作により、多くの糸くずが発生すること
- (b)かがり縫いは非常に高速で動作し、内部の動作部分を潤滑するためにときどき注油する必要があること

(1)掃除



電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。

- * ルーパーカバーを開き、糸くずブラシを使用して糸くずを残さず取り除きます。
- * ルーパーカバーを閉じ、柔らかい布でミシンの外側表面を拭いて、ほこりや糸くずを取り除きます。

(2)注油



電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。

- * ミシンを継続してスムーズに動かすために、図の可動部分にときどき注油してください。
- * 付属のミシン油を使用してください。他の油を使用しないでください。ミシンが破損する恐れがあります。
- * 縫う前に、ミシンの表面を拭いて余分な油を十分取り除いてください。

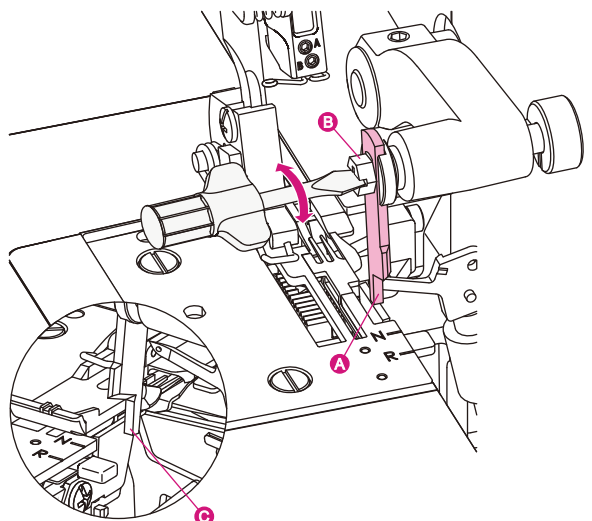
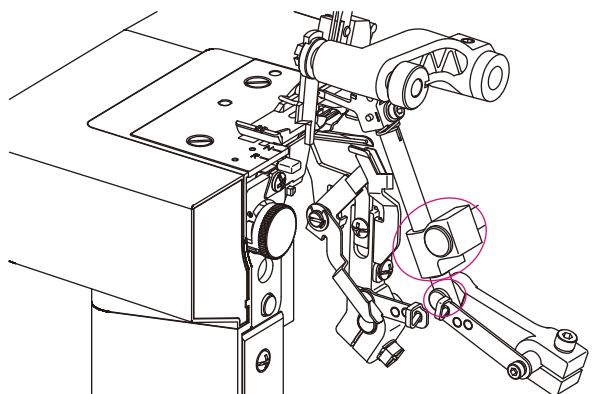
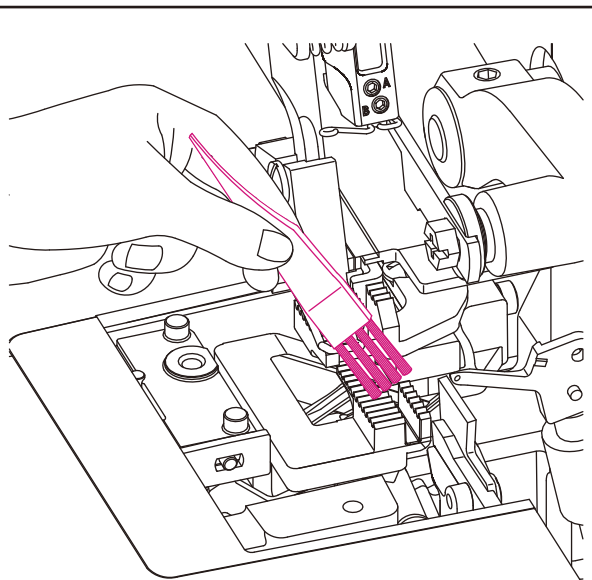
(3)上メスの交換



電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いてください。

上メスは、切れが鈍くなったら交換する必要があります。上メスは次の手順で交換します。

- * ルーパーカバーを開き、上メス(A)を動作位置にセットします。
- * 止めネジ(B)をゆるめ、上メス(A)を取りはずします。
- * はずみ車を回して、上メスホルダーが一番下の位置にくるようにします。
- * 新しい上メスを上メスホルダーの溝にはめて、止めネジ(B)を締めます。
- * 上メスの前端が固定式下メス(C)の切断端より0.5~1.0mm低いことを確認します。



(4) 保管

ミシンを使用していないときは、必ず電源プラグを抜いてください。ミシンに埃がかぶらないよう、頭部カバーをかぶせてください。直射日光や湿気にさらされないようにミシンを保管してください。

(5) 保守点検

お使いのオーバーロックミシンは、お買い求めいただいた正規販売店で定期的に点検を受けてください!

「故障かな・・・というときは」に従って症状を確認してください。何か問題がある場合は、余った布切れで試し縫いし、それを販売店に持参してください。試し縫いした布は、単なる言葉よりもはるかに原因究明の良い手がかりとなります。

純正の部品以外は絶対に使用しないでください

純正でない付属品や部品を使用したことにより生じた不良や破損は保証の対象となりません。

31. 布地、糸、針の組み合わせ表

織物			
布地		糸	針 ELx705
薄物	ローン オーガンジー ボイル	綿：#100 絹/レーヨン：#100 スパン：#80～#90 ポリエステル：#80～#100	#12/80
中物	モスリン シアサッカー サテン ギャバジン、ブロードクロス	綿：#60～#80 絹/レーヨン：#50 スパン：#60～#80 ポリエステル：#60～#80	#14/90, #12/80
厚物	オックスフォード デニム ツイード サージ、コーデュロイ	綿：#40～#60 絹/レーヨン：#40～#60 スパン：#60～#80 ポリエステル：#50～#80	#14/90

編物			
布地		糸	針 ELx705
薄物	トリコット	スパン：#80～#90 ポリエステル：#60～#80	#12/80
中物	ジャージ	スパン：#60～#80 ポリエステル：#60～#80 綿：#60～#80	#14/90, #12/80
厚物	ウール(織物、編物)	スパン：#60～#80 ポリエステル：#50～#60 ウーリーナイロン ウーリーポリエステル	#14/90, #12/80

32.故障かな・・・というときは

現象	処置方法
布地を正しく送らない	*縫い目の長さを長くします。 *厚手の布の場合は、押え圧力を高くします。 *薄手の布の場合は、押え圧力を下げます。 *差動送りを調べます。
針が折れる	*針を正しく挿入します。 *縫っているときに布を引っ張ったり押ししたりしないでください。 *針の止めねじを締めます。 *厚手の布には大きいサイズの針を使用します。
糸が切れる	*糸かけを確認します。 *糸が絡まったり引っかかったりしていないか確認します。 *針を正しく挿入します。 *針を交換してください。針が曲がっていたり、針先がつぶれている恐れがあります。 *高品質の糸を使用します。 *糸調子を緩めます。
目飛びがする	*針を交換してください。針が曲がっていたり、針先がつぶれている恐れがあります。 *針の止めねじを締めます。 *針を正しく挿入します。 *針の種類やサイズを変更します。 *糸かけを確認します。 *押え圧力を高くします。 *高品質の糸を使用します。
縫い目が乱れる	*糸調子のバランスを調節します。 *糸が絡まったり引っかかったりしていないか確認します。 *糸かけを確認します。
布地にしわが寄る	*糸調子を緩めます。 *糸が絡まったり引っかかったりしていないか確認します。 *高品質の細い糸を使用します。 *縫い目の長さを短くします。 *薄手の布の場合は、押え圧力を下げます。 *差動送りを調べます。
布カットが不安定になる	*メスの位置合わせをします。 *片方のメスまたは両方のメスを交換します。
縫い詰まる	*糸が絡まったり引っかかったりしていないか確認します。
ミシンが動かない	*ミシンのプラグを正しくコンセントに差し込んでください。

33.仕様表

項 目	仕 様
使用糸数	2 本・3 本・4 本
使用針	ELx705 サイズ：＃14/90, ＃12/80
かがり幅	右針：3.0 - 5.0 mm、左針：5.0 - 7.0 mm
縫い目の長さ（送り量）	1.0 - 5.0 mm
差動送り比	0.6~N(1)~2.0
押え上げ量	4.5 mm
縫い速度	最大1,300 針／分
ミシンの大きさ	幅308×奥行287×高さ311 mm
重量	6.4 kg
定格電圧／消費電力	100V / 80W

当社は、このミシンおよび各種付属品を予告なしに変更、または性能もしくは設計を変更する場合があります。
ただしこのような変更は使用者および製品の利益のために行なうものです。

■アフターサービスと保証

- このマシンには保証書がついています。
- 保証書は、お買い上げのお店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。ただし内蔵されているマイコン・メイン基板は2年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。
(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- このマシンは日本国内専用機種ですので、海外でのご使用はできません。また、海外での保証、アフターサービスは受けることができません。
- 保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げのお店にご相談ください。
当社は、このマシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。

JUKI

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、お買い上げのお店、または下記のお客様相談室へお問い合わせください。

TEL.042-357-2346

年末年始・夏季休暇・祝祭日を除く

平日(月～金)9:00～12:00、13:00～17:00

Copyright©2019 JUKI CORPORATION

本書の内容を無断で転載、複写することを禁止します。

40232012

JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧2-11-1

購入店名 後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

電話(- -)
購入年月日: 年 月 日

N1P13-01
190801